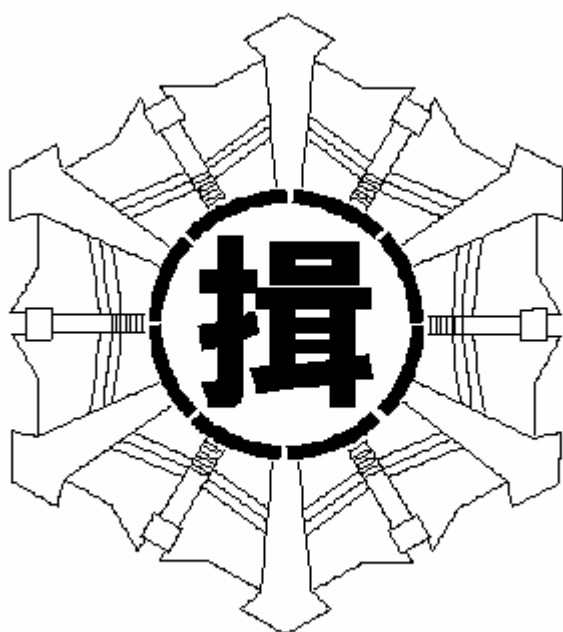


消 防 年 報

平 成 19 年 版



揖 斐 郡 消 防 組 合

(平 成 20 年 刊 行)

目 次

はしがき

1 位置・区域・沿革

消防本部の位置	1
管轄区域	2
消防本部のあゆみ	3～10

2 組合機構

組合構成町	11
組合議決機関	11
組合執行機関	12
委員・委員会	12

3 予算・決算

歳入歳出予算額	13
歳入歳出予算の構成比	13
構成町予算に占める分担金の比率	14
町別分担金の比率	14
予算額の推移	15
決算額の推移	16

4 消防情勢

消防組合・消防本部・署の組織機構	17
歴代管理者・消防長・消防署長	18
消防本部・消防署の事務分掌	19～20
消防庁舎の概要	21
消防施設・人員の配備状況	22
消防水利の状況	23
基準消防力と現有消防力の比較	24
主要機械器具の配備状況	25
配置車両一覧表	26
通信系統図	27
通信施設の状況	28
無線電話機の配置状況	28
階級別消防職員数の推移	29
職員の配属状況	29
消防職員勤続年数	30
年齢別消防職員数	31
消防職員特技資格調	32
消防相互応援協定の状況	33

5 予防統計

火災予防条例等に基づく各種届出の状況	3 4
消防用設備等着工・設置の状況	3 5
政令で定める防火対象物の町別数	3 6
政令で定める防火対象物数の状況	3 7
用途別・工事別建築同意件数	3 8
月別・工事別・構造別建築同意件数	3 9
町別危険物施設数	4 0
危険物製造所等の許可・検査の状況	4 1
危険物仮貯蔵承認申請等の状況	4 1

6 火災統計

町別火災状況	4 2
月別火災件数	4 3
曜日別火災件数	4 3
出火時間別火災状況	4 4
月別火災状況	4 5
火災件数の推移	4 6
建物焼損面積の推移	4 6
損害額の推移	4 6
原因別火災件数	4 7
四季別火災状況	4 7
町村別火災発生件数の状況	4 8
風向別火災発生状況	4 9
湿度別火災発生状況	4 9

7 救急統計

町別救急件数	5 0
月別救急件数	5 1
曜日別救急件数	5 1
性別・年齢別・程度別救護人員	5 1
救急件数の推移	5 2
覚知別救急出動件数	5 3
時間別救急出動件数	5 3
救急出動件数の内訳	5 3
救命講習等実施状況	5 4
救命講習月別受講者一覧表	5 5
月別・診療科目別救急医療情報照会の状況	5 6
独居老人緊急通報システム通報後の処理状況	5 7

8 救助統計

町別救助件数	5 8
--------	-----

月別救助件数	・ ・ ・ ・ ・	5 9
救助件数の推移	・ ・ ・ ・ ・	5 9
9 消防団・防火クラブ等		
管内消防団の消防力	・ ・ ・ ・ ・	6 0
幼年消防クラブの状況	・ ・ ・ ・ ・	6 1
少年消防クラブの状況	・ ・ ・ ・ ・	6 2
婦人消防隊・防火クラブの状況	・ ・ ・ ・ ・	6 3

は し が き

この年報は、平成19年中の当消防組合における消防現況と併せて累年の消防状況を収録したもので、その実態を広く紹介し、各位のご理解をいただくとともに、将来の消防行政の指針とするために編纂したものであります。

尚、とくに記載してあるものを除き平成19年12月末日をもって収録しました。

平成20年 3月

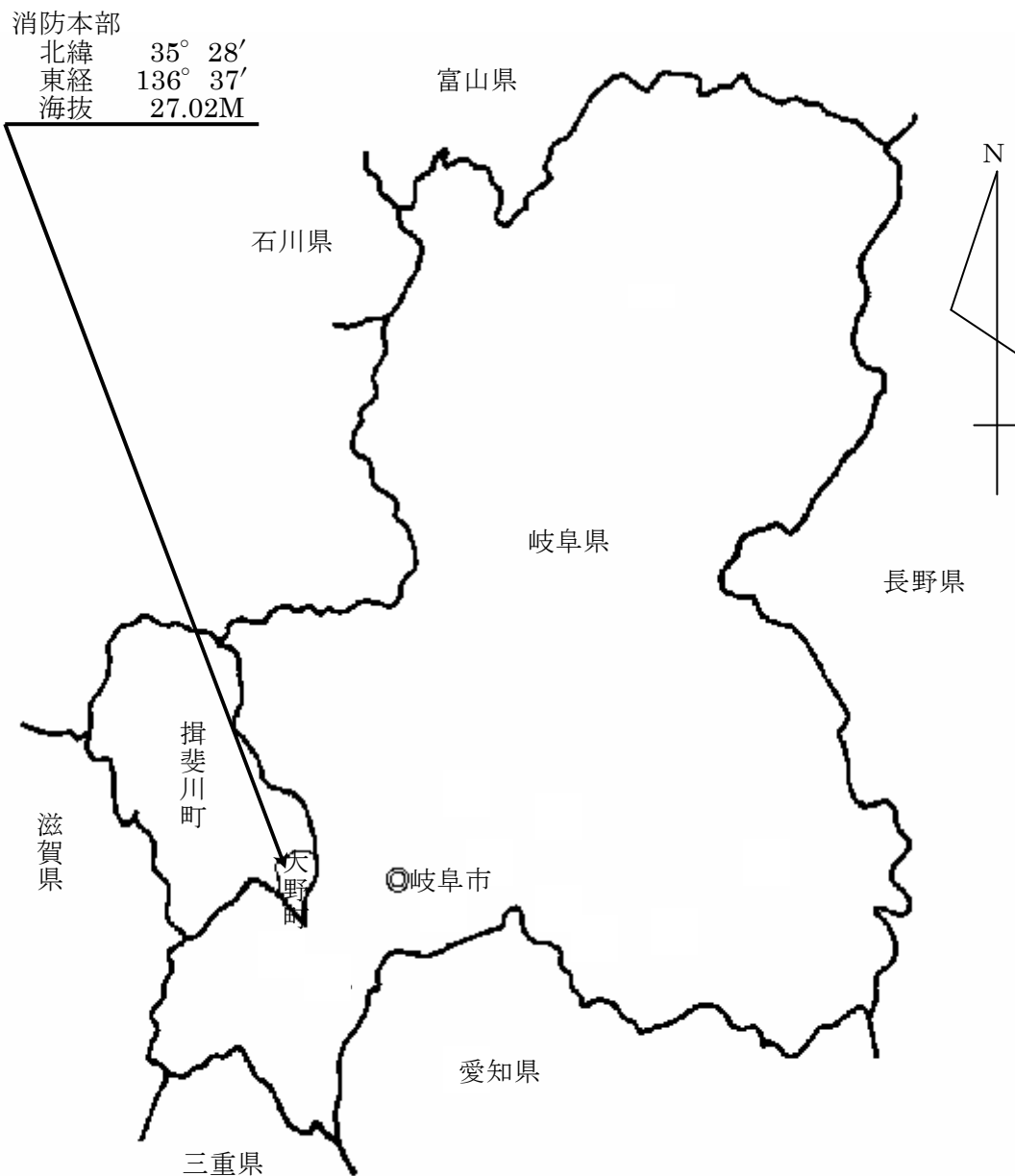
揖斐郡消防組合消防本部

1. 位 置 ・ 区 域 ・ 沿 革



揖斐郡消防組合消防本部・署・防災センター庁舎

消 防 本 部 の 位 置



当消防本部は、岐阜県の西部、揖斐郡の東南部大野町に位置し、岐阜市より13km、大垣市より12kmと岐阜県の中心都市に近く、また揖斐関ヶ原養老国定公園の景観を背後に控え、悠々と千古の流れを湛える清流揖斐川とその支流根尾川に挟まれた山紫水明の地であり、付近には多くの古墳が点在し、遠く古より文化の栄えた地でもあります。

管 轄 区 域

1. 消防本部の管轄区域は池田町を除く揖斐郡の全域である。

東 西 35. 3km

南 北 41. 4km

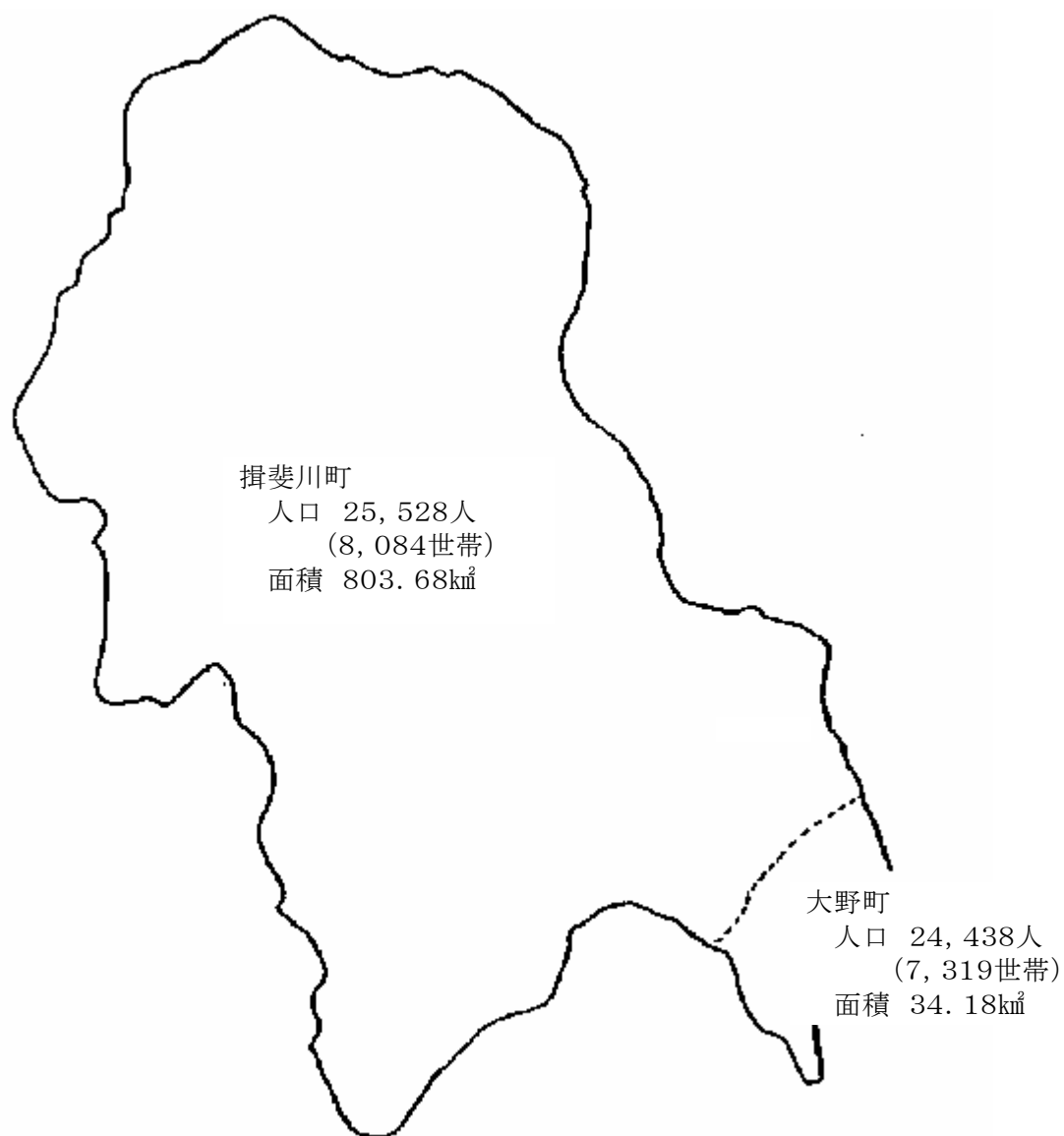
2. 管轄区域の概況は下図のとおりである。

(平成19年12月31日現在)

管内人口 49, 966人

(世帯数 15, 403世帯)

管内面積 837. 86km²



消 防 本 部 の あ ゆ み

1 昭和45年 4月 1日

- (1) 前年より広域行政の一環として、揖斐郡下の消防の広域化の計画が県事務所を通じて県より提示され、関係町村で審議された。その結果、揖斐川町、大野町、谷汲村の2町1村で「揖斐郡中央消防事務組合」を発足させるための諸準備が進められた。
- (2) 揖斐郡中央消防事務組合・消防本部・署が発足。管理者兼消防長に揖斐川町長の栗野一雄氏が就任。
- (3) 第1回組合議会を招集、組合規約、組合条例、同規則等を定めた。
- (4) 消防庁舎や、車両、各種機材等は、旧大野町消防団常備部のものを当分の間借用することとし、消防長以下20名の隊員で業務を開始した。

2 昭和45年 7月17日

日本防火協会より救急車(トヨタ・クラウン)が寄贈され、翌日より救急業務を開始した。

3 昭和45年12月14日

かねて大野町中之元地内に建設中の消防本部・署の庁舎が完成、新規購入の水槽付き消防ポンプ自動車(いすゞ無線付)及び消防ポンプ自動車(ニッサン・パトロール無線付)を配備、従来の車両を含め5車両で本格的な消防業務を開始した。

4 昭和46年 1月 5日

第1回の消防出初式が挙行される。以後、この日を当消防本部の出初式の日と定め、毎年1月5日に挙行されることとなった。

5 昭和46年 3月17日

急増する救急事故に対処するため、救急車(トヨタ・クラウン)を購入し、消防署に配備した。

6 昭和46年 8月 3日

災害現場の指揮の確立を図るため、指令車(ニッサン・パトロール)を購入、消防署に配備した。

7 昭和46年10月15日

谷汲村徳積に建設中の消防署谷汲分署が竣工、新規購入の消防ポンプ自動車(ニッサン・パトロール)と消防署にある救急車を配備、分署長以下8名の隊員を配備し、谷汲方面の警防体制を強化した。

8 昭和46年11月15日

広報車(トヨタ・コロナ)を購入、消防署に配備した。

9 昭和46年12月 3日

小型動力ポンプ(ラビット)を購入、消防署消防車に積載した。

10 昭和46年12月15日

大垣消防組合消防本部と、消防、救急業務について相互応援協定を締結し大規模災害に備える。

11 昭和47年 2月 9日

携帯無線機(1W)4機を購入、主要車両に積載配備し、現場活動の円滑化を図る。

12 昭和47年 9月30日

消防ポンプ自動車(ニッサン・パトロール)を購入、消防署に配備した。

13 昭和48年 8月 1日

岐阜県農業共済連合会より、救急車(ニッサン・キャラバン)の寄贈を受け、これを消防署に配備した。

14 昭和48年11月12日

第1回消防競練会を開催し、消防技術の向上に努める。

15 昭和49年 4月 1日

- (1) 消防の広域化が更に推進されることとなり、名称を「揖斐郡消防組合」に改め、揖斐郡下2町6村による広域消防が発足した。
- (2) 第1回組合議会を招集し、規約、条例等を改正するとともに、2分署の増設を決議した。
- (3) 栗野消防長外、新規採用職員12名を含む49名の人員にて業務を開始した。

16 昭和49年 7月19日

栗野消防長、健康上の理由で辞職、副管理者が職務を代行。

17 昭和49年 9月24日

大野町長馬淵勲氏、管理者兼消防長に就任。

18 昭和49年11月 1日

同年8月11日揖斐川町地内の用水取入口で発生した水難事故に対する救出活動の功績により、岐阜県消防大会において、消防本部が知事表彰、出場隊員8名が県消防協会の顕功彰を受賞。

19 昭和49年11月11日

第2回消防競練会を開催、最少人員による消防活動の基本を確立した。

20 昭和49年12月 3日

- (1) 消防本部の機構を改革し、条例で定められたとおりの2課制とした。
- (2) かねて建設中の藤橋、春日分署が竣工、新規購入の消防車(トヨタ)、救急車(トヨタ)及び所要備品を配備し、分署長以下8名の隊員で業務を開始した。

21 昭和50年 2月 9日

日本自動車工業会より救急車(トヨタ)の寄贈を受け、これを藤橋分署に配備した。

22 昭和50年 3月31日

管内のほぼ中央部の権現山山腹に無線中継所が完成、管内全域での無線交信がほぼ可能となる。

23 昭和51年 3月31日

小川消防次長退職、内藤警防課長が翌月4月1日付で就任。

24 昭和51年12月11日

救助工作車(いすゞ)を購入、消防署に配備した。

25 昭和51年12月25日

本巣消防事務組合消防本部と消防、救急業務について相互応援協定を締結した。

26 昭和52年 3月23日

揖斐川バス転落事故発生(久瀬村、死者行方不明者4人、負傷者4人)、救助活動の後、一週間にわたり行方不明者の搜索活動を実施した。

27 昭和52年11月15日

広報車(トヨタ・2000cc)を更新配備した。

28 昭和52年12月28日

揖斐川町房島の製材工場より出火、隣接の上善明寺など延べ1, 311㎡を焼失した。

29 昭和53年 8月 4日

消防本部・署庁舎の空調設備が完成した。

30 昭和53年11月10日

指令室に救急指令装置(B型)を導入、迅速的確な通信体制の確立を図る。

31 昭和53年12月27日

消防本部旗を製作、設置された。

32 昭和54年 4月 1日

管理者が消防長の職を辞任、同日付で内藤次長が消防長に就任。

33 昭和54年 9月 8日

予防査察車を更新(ニッサン・1400cc)した。

34 昭和54年11月10日

(1) 水難事故対策用として、大型ゴムボート(8人乗り、30馬力船外機付)を購入、消防署に配備した。

(2) 管内にある自主防火組織の健全な育成と防火思想の向上を期し、「揖斐郡少年婦人防火推進委員会」が発足、会長に消防長が就任。

35 昭和55年 4月 1日

消防吏員の条例定数が65人に拡大された。

36 昭和55年11月 7日

発足10周年記念式典が挙行される。

37 昭和56年 2月25日

第1回消防職員意見発表会を開会。以後、毎年実施され消防職員の資質の向上に努める。

38 昭和56年 3月20日

消防本部訓練場(敷地1, 804㎡ 防火水槽付)が完成。

39 昭和56年 8月 5日

資材輸送車(いすゞ2t 車)を購入、消防署に配備した。

40 昭和56年10月20日

訓練場内に訓練塔(地上高19メートル)が完成。

41 昭和57年 2月28日

管理者馬淵 勲氏辞任、副管理者林正一氏が職務を代行し、翌月3月24日付で管理者に就任。

42 昭和57年 9月25日

日東あられ株式会社より救急車購入資金として500万円の寄贈を受けたため、救急車(トヨタ・1960cc)を購入、消防署の車両を更新した。

43 昭和57年10月19日

日本防火協会より防火広報車(ニッサン・1950cc)が揖斐郡婦人防火連絡協議会に寄贈され、消防署に配備した。

44 昭和58年 5月31日

内藤消防長が退職、後任として井深総務課長が翌6月1日付で消防長に就任。

45 昭和59年10月31日

水槽付き消防ポンプ自動車(Ⅱ型、日野)を購入、消防署に配備した。

46 昭和59年11月 1日

滋賀県の伊香郡消防組合消防本部と消防、救急業務について相互応援協定を締結。

47 昭和59年11月 2日

日本自動車工業会より救急車(トヨタ・1960cc)の寄贈を受けたため、谷汲分署車両を更新した。

48 昭和60年12月 6日

管理者林正一氏病気により逝去、副管理者鳥本安治氏職務を代行。

49 昭和61年2 月13日

大野町長鳥本安治氏、管理者に、揖斐川町長香田定雄氏、副管理者にそれぞれ就任。

50 昭和61年 3月31日

災害時における迅速的確な応急対策を目的とした、県防災行政無線局の端末機を指令室に設置した。

51 昭和61年 3月31日

無線基地局(10W)2機、移動局(25W)5機、携帯局(1W)2機をそれぞれ更新配備した。

52 昭和61年11月19日

揖斐川ライオンズクラブより救急車(トヨタ・1960cc)の寄贈を受けたため、消防署の車両を更新した。

53 昭和61年11月28日

消防ポンプ自動車(三菱・CD-I型・4WD)を購入、消防車両を更新した。

54 昭和62年2月27日

徳山村が藤橋村に編入合併し管内2町6村から2町5村となる。

55 昭和62年 7月20日

副管理者香田定雄氏病気により逝去。

56 昭和62年 9月 6日

揖斐川町長宗宮次郎氏、副管理者に就任。

57 昭和62年10月31日

消防署事務室を68.89㎡増築した。

58 昭和63年 5月 1日

指令車(トヨタ・ランドクルーザー57年式)を藤橋村より寄贈を受けたため、更新した。

59 昭和63年 8月 2日

日本防火協会より防災用緊急伝達器材として、携帯無線電話機(1W)10台と携帯拡声器2台の寄贈を受けた。

60 平成 元年 3月31日

井深消防長退職、八木次長が翌4月1日付で、消防長に就任。

61 平成 2年 2月15日

日本損害保険協会より救急車(トヨタ・2800cc4WD)の寄贈を受けたため、藤橋分署車

両を更新、同時に同型の車両1台を購入し、春日分署車両を併せて更新した。

62 平成2年12月6日

救助工作車Ⅱ型(日野・7412ccクレーン、ウインチ付)を購入、更新配備した。

63 平成 3年 3月31日

八木消防長が定年退職、内藤次長が翌4月1日付で消防長に就任。

64 平成 3年10月 1日

(1) 消防本部・署庁舎を全面補修した。

(2) セフティー66達成(以前から全職員66名の無事故を願って、交通安全運動を展開中であったが、全員が1年間無事故無違反を達成した。)

65 平成 3年11月17日

揖斐川ライオンズクラブより救急車(トヨタ・2800cc・4WD)の寄贈を受け、これを消防署に配備した。

66 平成 3年12月18日

藤橋・春日両分署の消防車を更新(トヨタ・CD I 4WD・動力昇降装置・ホースレイヤー)を更新配備した。

67 平成 4年 4月 1日

消防本部の機構を一部改正し、消防本部に予防課を設置、3課1室とした。

68 平成 4年 8月30日

岐阜県広域総合防災訓練が揖斐郡下各所で実施され、当本部もこれに参加した。

69 平成 4年10月22日

福井県の南越消防組合消防本部と消防相互応援協定を締結した。

70 平成 4年11月11日

美濃大野ライオンズクラブより予防広報車(スズキ・4WD)2台の寄贈を受け、これを消防署に配備した。

71 平成 4年12月15日

谷汲分署の消防車を更新(三菱・CD I ・4WD・動力昇降装置・ホースレイヤー)を配備した。

72 平成 5年 3月20日

消防本部指令室に緊急通報システム受報装置を設置、独居老人宅からの非常受報と連絡体制が確立した。

73 平成 5年 8月20日

救助隊障害突破チームが東海地区指導会を初制覇、北九州市において開催された全国救助大会に初出場を果たした。

74 平成 5年 8月31日

小型消防救助艇(1t級)を藤橋分署に配備、水難、山林火災等に対する活動体制を強化した。なお、同艇輸送車を森田ポンプ(株)より寄贈を受け併せて同分署に配備した。

75 平成 6年 2月28日

管理者 鳥本安治氏辞任。

76 平成 6年 3月 1日

揖斐川町長栗田登氏、管理者に、大野町長杉山茂氏、副管理者に就任。

77 平成 6年 8月18日

- (1) 日本消防協会より消防指令広報車(三菱・R-CB2V、リベロ・カーゴバン)の寄贈を受け、これを消防署に配備した。
- (2) 第23回全国消防救助大会にはしご登はんの部で出場した。

78 平成 6年 9月 4日

平成6年度揖斐郡防災訓練が坂内村広瀬地区で実施され、岐阜県防災ヘリコプター(若鮎)もこれに参加した。

79 平成 6年10月31日

谷汲分署事務室を増築(10.44 m²)した。

80 平成 6年11月14日

日本防火協会より春日村へき地保育所幼年消防クラブに鼓笛セットが交付された。

81 平成 7年 3月20日

岐阜県が消防防災ヘリコプター導入に伴い、県内共通波無線基地局(10W)を配備した。

82 平成 7年 3月31日

内藤消防長が定年退職、所消防署長が翌4月1日付で、消防長に就任。

83 平成 7年 8月23日

日本消防協会より救急車(ニッサン・2B型・2663ccディーゼル)の寄贈を受け、これを消防署谷汲分署に配備した。

84 平成 7年12月 1日

消防ポンプ自動車(日野・KC-FDIJEBA CD-2H)を購入、消防署車両を更新した。

85 平成 8年 3月25日

権現山無線中継所空中ケーブル設備を地中化とした。

86 平成 8年 3月31日

消防署藤橋分署無線基地局(10W)1基を更新した。

87 平成 9年 1月31日

管理者 栗田登氏辞任。

88 平成 9年 2月10日

大野町長杉山茂氏、管理者に、揖斐川町長下野琢二氏、副管理者に就任。

89 平成 9年 3月31日

所消防長が定年退職、松久次長が翌4月1日付けで、消防長に就任。

90 平成 9年 7月11日

揖斐郡消防組合庁舎、防災センター新築工事着工

91 平成 9年10月16日

社団法人、日本損害保険協会より水槽付き(2,000・)消防ポンプ自動車(日野・KC-G DIGBJ4・7, 961ccディーゼル)の寄贈を受け、消防署に配備した。

92 平成 9年12月 2日

高規格救急車(トヨタ・ハイメディックV8・3, 378ccガソリン仕様)を購入し、消防署に配備した。なお、平成10年5月1日から運用開始した。

93 平成10年 3月 9日

日本消防協会より防災広報車(ニッサンステーションワゴン・1830cc)の寄贈を受け、これ

を消防本部に配備した。

94 平成10年 3月26日

揖斐郡消防組合庁舎・防災センター竣工。

95 平成11年 4月 1日

出動計画の見直しにより分署名を次のとおり改正した。

「谷汲分署」を「東分署」に。「藤橋分署」を「北分署」に。「春日分署」を「西分署」に。

96 平成11年 6月22日

消防緊急通信指令装置（I型）更新に伴う契約を松下通信電気産業（株）と備品購入事業として締結した。

97 平成11年 8月19日

第28回全国消防救助技術大会に、はしご登はんの部で出場した。

98 平成12年 3月29日

消防緊急通信指令装置（I型）が完成し、運用を開始した。

99 平成13年 2月 7日

揖斐川町長宗宮孝生氏、副管理者に就任

100 平成13年 3月 1日

財団法人日本消防協会より指令車（ニッサンテラノ・3, 200cc）の寄贈を受け、これを消防本部に配備した。

101 平成13年 3月 6日

資機材輸送車（いすゞフォワード・8, 220cc・4WD）を購入し、消防署に配備した。

102 平成13年 3月31日

松久消防長が定年退職、武藤総務課長が翌4月1日付けで、消防長に就任。

103 平成13年 7月16日

滋賀県の東浅井郡広域行政組合消防本部と消防・救急業務について相互応援協定を締結。

104 平成13年 8月 8日

第30回全国消防救助技術大会に障害突破の部で出場した。

105 平成14年 3月22日

安田生命保険相互会社より高規格救急自動車（ニッサン・パラメディック V6・3, 500cc）寄贈を受け、資機材を整備積載し北分署に配備した。

106 平成14年 7月31日

美濃大野ライオンズクラブより広報車（トヨタ PROBOX バン・GL・1, 500cc・4WD）の寄贈を受け、消防本部に配備した。

107 平成14年11月25日

ネットワーク環境設備及び庁内ラン配線工事を終了し、運用を開始した。

108 平成15年8月20日

日本宝くじ協会より、消火・通報訓練指導車（マツダ・タイタン・2, 000cc・2W）の寄贈を受け消防本部に配備した。

109 平成15年10月31日

消防署西分署の耐震補強工事を着工。平成16年3月20日完了した。

110 平成16年8月3日

消防本部(署)庁舎の耐震補強工事を着工。平成16年12月10日完了した。

111 平成17年1月31日

揖斐川町、谷汲村、春日村、久瀬村、藤橋村、坂内村が合併し揖斐川町となり、組合の構成が揖斐川町、大野町の2町となった。

112 平成17年4月15日

揖斐川町長宗宮孝生氏、管理者に。大野町長杉山茂氏、副管理者に就任。

113 平成17年8月15日

防火広報車(トヨタ・ハイエース、9人乗り、ワゴン車2500cc)を購入し消防署に配備した。

114 平成17年11月1日

高規格救急車(トヨタ・ハイメディック、3378cc)を購入し消防署に配備した。

115 平成18年4月1日

昭和62年旧伊香郡消防組合、平成13年旧東浅井郡広域行政組合との応援協定を廃止し、新たに湖北地域消防組合と消防相互応援協定を締結した。

116 平成18年8月18日

防火広報車(ダイハツハイゼット、650cc)購入し消防署に配備した。

117 平成18年11月8日

水槽付ポンプ消防車(日野・レンジャー、6400cc)を購入し消防署に配備した。

118 平成19年3月31日

武藤消防長が定年退職。翌4月1日付けで宮川康太郎氏が揖斐川町役場から派遣され消防長に就任。

119 平成19年8月22日

第36回全国消防救助技術大会に障害突破の部で出場した。

120 平成19年12月7日

災害対応特殊救急自動車(トヨタ・ハイメディック、2690cc)を購入し消防署に配備した。

2. 組 合 機 構

揖斐川町

揖斐川町は、岐阜県の南西部に位置し、岐阜市から国道303号線で40分の交通至便の条件にある。とおく越美山系を源とする揖斐川・粕川の本流が山間部から濃尾平野に流れ出る扇状地に発展した町で、揖斐米や美濃いび茶の産地である。

戦国時代に美濃の中でも主要な歴史舞台のひとつになった、美濃守護であった土岐氏、その後この地を支配した斎藤氏、稲葉氏などの史跡が数多く残る。

平成17年1月31日揖斐川町に谷汲村、春日村、久瀬村、藤橋村、坂内村の5村が合併し、新揖斐川町となった。

毎年11月に開催されるいびがわマラソンは、揖斐川町が主催し日本陸連公認コースとしては、東海3県で初めてのマラソンコースである。昭和63年に中部未来博の協賛事業としてスタートし、揖斐川の恩恵に感謝した大会は、揖斐川の清流や美しい紅葉のアピールとなった。

また、主催町のボランティアグループが大会を支え、参加者は岐阜県全域のみならず、大阪や新潟をはじめ全国から多数で、市民マラソンのアメリカ・セントジョージ市とのマラソン交流も活発に行なわれている。



◆いびがわマラソン

組 合 構 成 町

揖斐川町 大 野 町

組 合 議 決 機 関

当消防組合の議会議員は、構成町の町長が指名した町の職員、議会議長及び消防団長で構成されている。

現在の組合議会議員は、下の表のとおりである。

議 長	副 議 長
(6) 大野町副町長 山 本 浩	(2) 揖斐川町副町長 富 田 和 弘
議 員	
(1) 揖斐川町議会議長 清 水 政 則	(2) 揖斐川町副町長 富 田 和 弘
(3) 揖斐川町消防団長 橋 本 利 弘	(5) 大野町議会議長 田 代 義 明
(6) 大野町副町長 山 本 浩	(7) 大野町消防団長 林 隆 一

議員数 6人 ()内の数値は議席番号

組 合 執 行 機 関

組合執行機関の長である管理者と、管理者を補佐する副管理者は構成町の長の互選により決定される。また、会計管理者は構成町の長の互選により組合の会計管理者となる。

組合執行機関の長等は、下表のとおりである。

管 理 者	揖斐川町長	宗 宮 孝 生
副 管 理 者	大 野 町 長	杉 山 茂
会 計 管 理 者	大野町会計管理者	細 野 武

委 員 ・ 委 員 会

1. 監査委員

監査委員は、組合議会議員及び構成町の監査委員の中からそれぞれ1名を管理者が選任する。

現在の監査委員は、下表のとおりである。

大 野 町 監 査 委 員	川 本 卓 男
揖斐川町消防団長	橋 本 利 弘

2. 公平委員会 岐阜県に委託

3. 予 算 ・ 決 算

大 野 町

◆バラ公園

つるバラ、フロリバンダ、ローテローゼなど 100 種類、2,000 本のバラたちが迎えてくれるロマンティックなバラの花園。遊具や遊歩道などの施設も充実しており、5月下旬から11月中旬まで花を楽しめます。



◆牧村家住宅

江戸期の美濃地方の農家の様子を伝える国指定重要文化財で、柱と横架材の組み方が鳥居に似ているので鳥居建形式の民家と言われています。



◆来振寺節分星祭り

厄除け・招福を祈って、毎年2月3日の節分の日に行われるお祭りです。参詣者は、不老長寿の酒といわれる笹酒がふるまわれ、年男等によって福豆がまかれます。

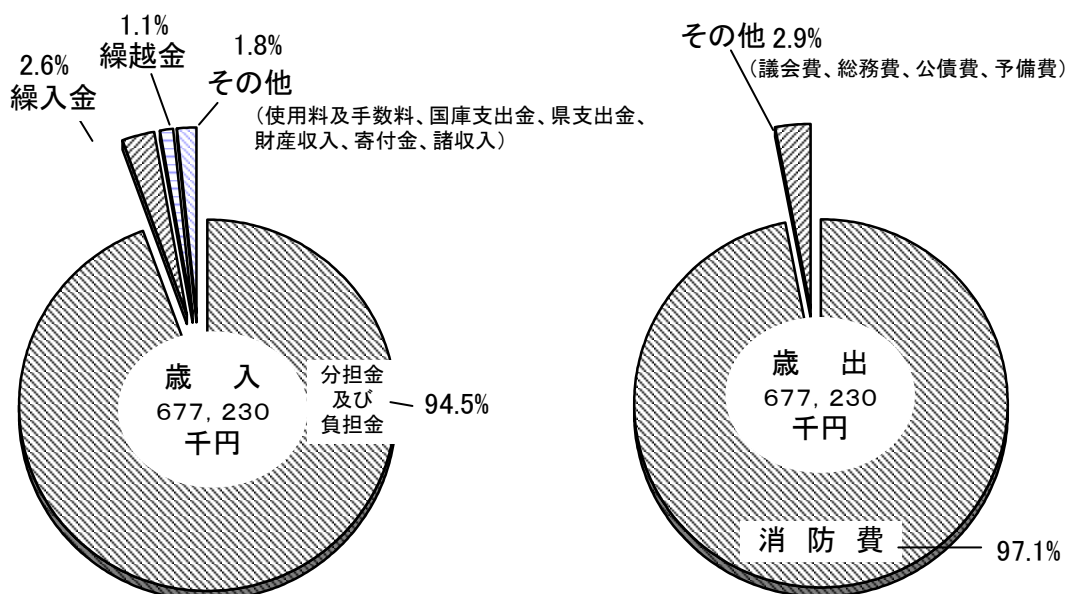
歳入歳出予算額

(平成19年度)

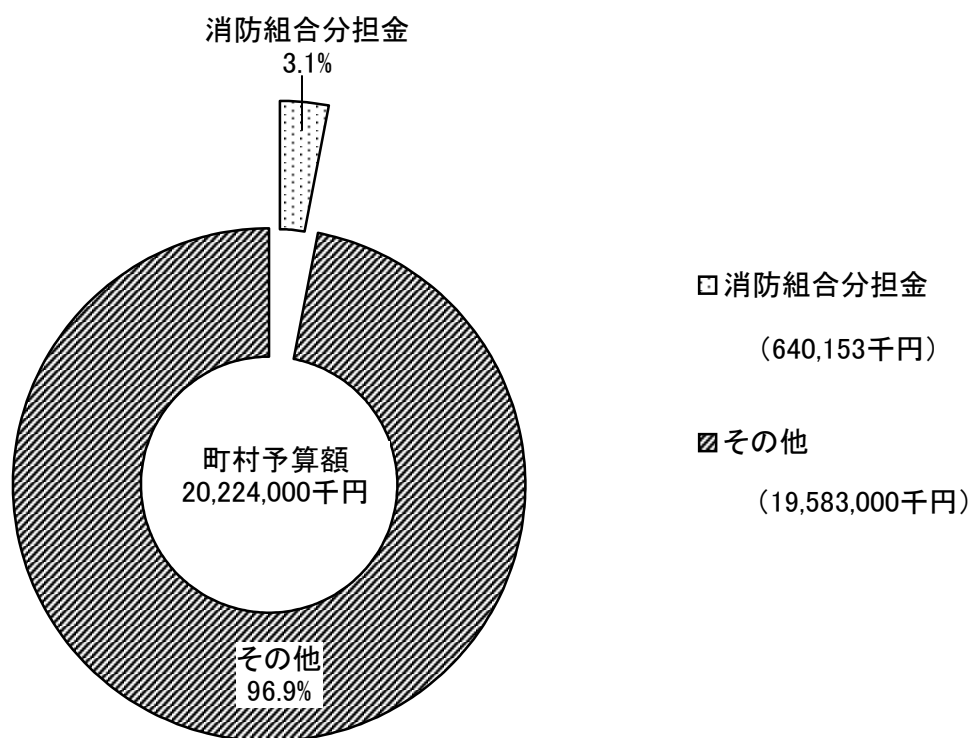
歳 入 (千円)		歳 出 (千円)	
1. 分担金及び負担金	640,153	1. 議 会 費	202
2. 使用料及び手数料	765	2. 総 務 費	3,435
3. 国 庫 支 出 金	9,200	3. 消 防 費	657,240
4. 県 支 出 金	1	4. 公 債 費	15,353
5. 財 産 収 入	295	5. 予 備 費	1,000
6. 寄 附 金	1		
7. 繰 入 金	17,600		
8. 繰 越 金	7,388		
9. 諸 収 入	1,827		
歳 入 合 計	677,230	歳 出 合 計	677,230

(☆ 住民1人当りの消防組合予算 13,553円)

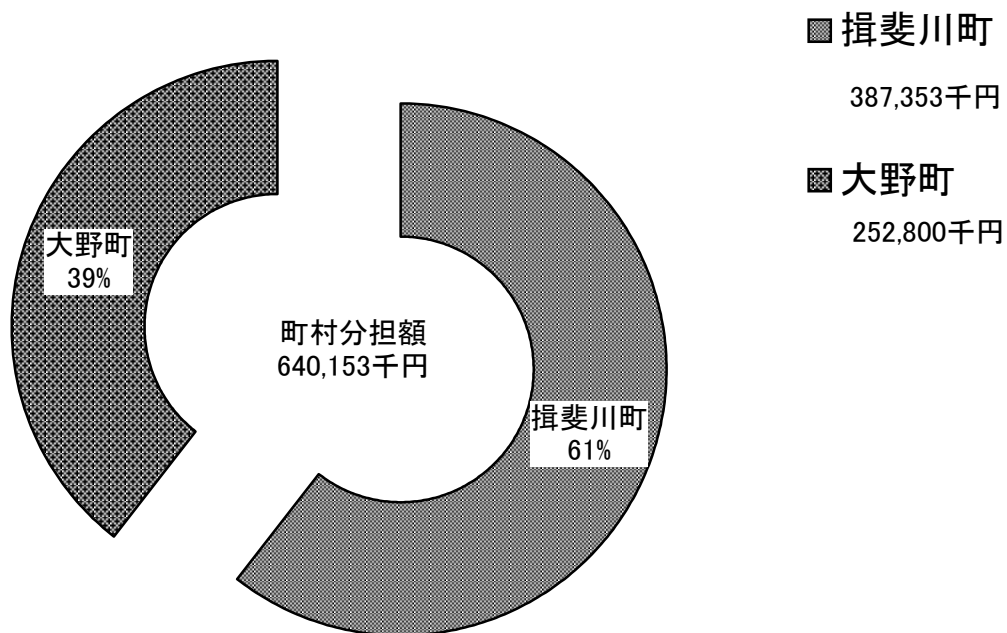
歳入歳出予算の構成比(平成19年度)



構成町予算に占める分担金の比率（平成19年度）



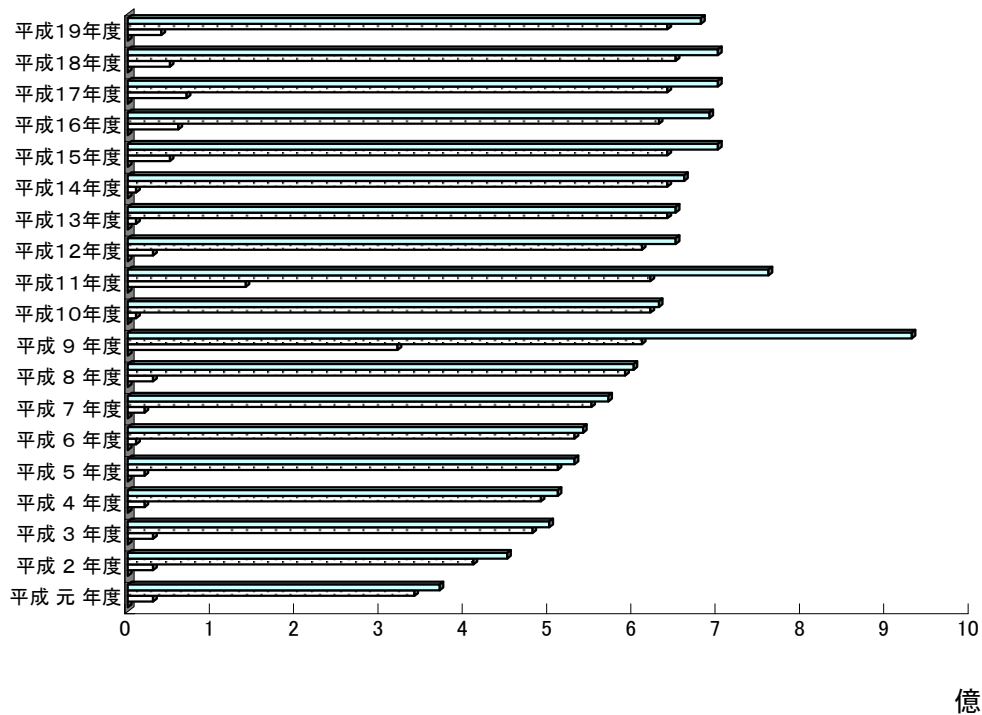
町別分担金の比率（平成19年度）



予 算 額 の 推 移

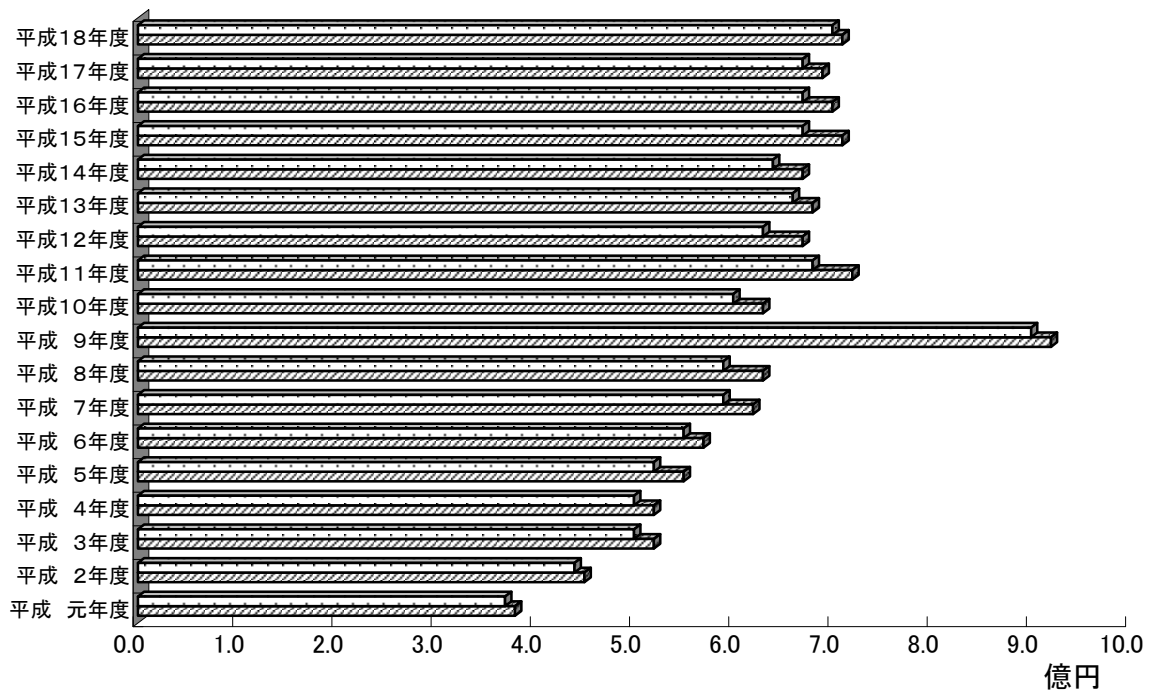
年 度 別	予 算 総 額 (千円)	分 担 金 及 び 負 担 金 (千円)	そ の 他 (千円)
平 成 元 年 度	374,610	344,635	29,975
平 成 2 年 度	445,746	413,995	31,751
平 成 3 年 度	503,421	477,959	25,462
平 成 4 年 度	509,718	492,297	17,421
平 成 5 年 度	528,575	510,863	17,712
平 成 6 年 度	539,751	526,674	13,077
平 成 7 年 度	573,760	552,201	21,559
平 成 8 年 度	601,254	589,689	27,494
平 成 9 年 度	925,030	605,631	319,399
平 成 1 0 年 度	628,221	617,262	10,959
平 成 1 1 年 度	758,781	617,346	141,435
平 成 1 2 年 度	648,694	614,800	33,894
平 成 1 3 年 度	653,020	639,856	13,164
平 成 1 4 年 度	658,413	643,566	14,847
平 成 1 5 年 度	695,834	643,247	52,587
平 成 1 6 年 度	691,000	629,205	61,795
平 成 1 7 年 度	703,000	635,927	67,073
平 成 1 8 年 度	702,876	649,877	52,999
平 成 1 9 年 度	677,230	640,153	37,077

年度



決算額の推移

年 度 別	歳 入 決 算 額(千円)	歳 出 決 算 額 (千円)
平 成 元 年 度	375,505	372,246
平 成 2 年 度	447,382	435,306
平 成 3 年 度	517,043	498,249
平 成 4 年 度	524,794	498,523
平 成 5 年 度	547,799	518,684
平 成 6 年 度	565,171	545,760
平 成 7 年 度	621,672	589,683
平 成 8 年 度	627,159	591,531
平 成 9 年 度	918,762	904,339
平 成 1 0 年 度	634,140	601,563
平 成 1 1 年 度	724,340	678,274
平 成 1 2 年 度	672,496	633,182
平 成 1 3 年 度	681,103	656,379
平 成 1 4 年 度	672,294	638,907
平 成 1 5 年 度	707,755	672,456
平 成 1 6 年 度	698,453	669,770
平 成 1 7 年 度	688,744	673,221
平 成 1 8 年 度	706,282	695,457



4. 消 防 情 勢

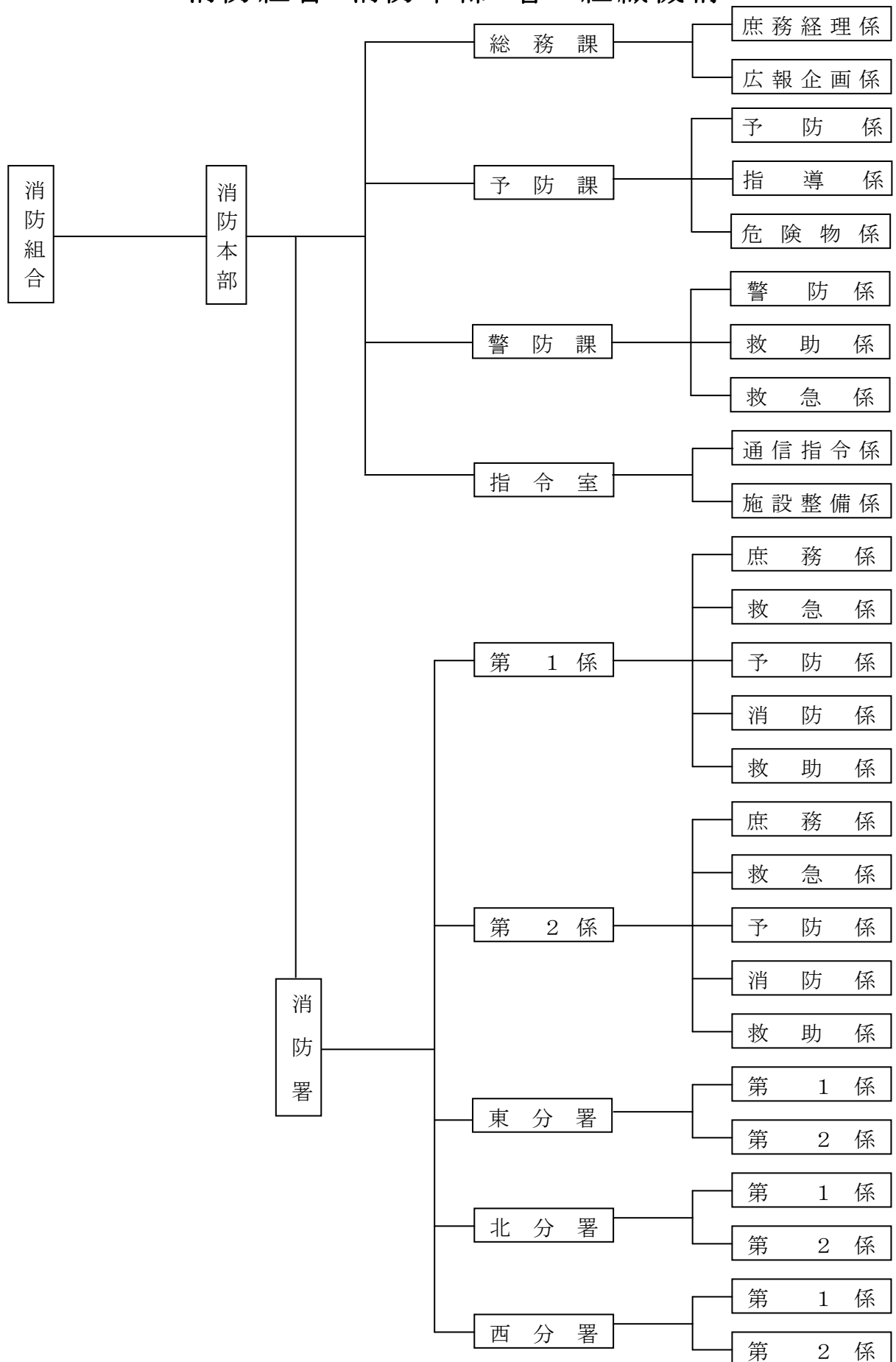
揖斐川町 谷汲

◆谷汲山華嚴寺

妙法ヶ岳を背に静かにたたずむ姿は、1200年経った今もなお、多くの人々が参拝に訪れる古刹の歴史と風格を感じさせます。本堂に安置されている沙門天像は国の重要文化財。西国三十三番満願霊場としても知られています。



消防組合・消防本部・署の組織機構



歴代管理者・消防長・消防署長

		氏 名	在 職 期 間
管 理 者	初 代	栗 野 一 雄	昭和45年 4月 1日～昭和49年 9月23日
	2 代	馬 渕 勲	昭和49年 9月24日～昭和57年 3月31日
	3 代	林 正 一	昭和57年 4月 1日～昭和60年12月25日
	4 代	鳥 本 安 治	昭和60年12月26日～昭和61年 2月12日 (職務代理)
			昭和61年 2月13日～平成 6年 2月28日
	5 代	栗 田 登	平成 6年 3月 1日～平成 9年 1月31日
	6 代	杉 山 茂	平成 9年 2月10日～平成17年 4月15日
	7 代	宗 宮 孝 生	平成17年 4月16日～現在
消 防 長	初 代	栗 野 一 雄	昭和45年 4月 1日～昭和49年 9月23日
	2 代	馬 渕 勲	昭和49年 9月24日～昭和54年 3月31日
	3 代	内 藤 正 武	昭和54年 4月 1日～昭和58年 5月31日
	4 代	井 深 静 夫	昭和58年 6月 1日～平成 元年 3月31日
	5 代	八 木 和 夫	平成 元年 4月 1日～平成 3年 3月31日
	6 代	内 藤 正 臣	平成 3年 4月 1日～平成 7年 3月31日
	7 代	所 千 秋	平成 7年 4月 1日～平成 9年 3月31日
	8 代	松 久 時 男	平成 9年 4月 1日～平成13年 3月31日
	9 代	武 藤 文 夫	平成13年 4月 1日～平成19年 3月31日
	10代	宮 川 康 太 郎	平成19年 4月 1日～現在
消 防 署 長	初 代	小 川 豊	昭和45年 4月 1日～昭和51年 3月31日
	2 代	内 藤 正 武	昭和51年 4月 1日～昭和54年 3月31日
	3 代	井 深 静 夫	昭和54年 4月 1日～昭和58年 5月31日
	4 代	八 木 和 夫	昭和58年 6月 1日～平成 元年 3月31日
	5 代	内 藤 正 臣	平成 元年 4月 1日～平成 3年 3月31日
	6 代	羽 賀 一 武	平成 3年 4月 1日～平成 5年 3月31日
	7 代	所 千 秋	平成 5年 4月 1日～平成 8年 3月31日
	8 代	関 谷 透	平成 8年 4月 1日～平成11年 3月31日
	9 代	浅 野 光 明	平成11年 4月 1日～平成13年 3月31日
	10代	所 博 幸	平成13年 4月 1日～平成15年 3月31日
	11代	今 村 信	平成15年 4月 1日～平成18年 3月31日
	12代	宗 宮 恒 男	平成18年 4月 1日～現在

消 防 本 部 の 事 務 分 掌

消 防	総 務 課	庶 務 経 理 係	1. 公印の管守に関する事。 2. 表彰に関する事。 3. 職員の公務災害補償及び福利厚生に関する事。 4. 職員の研修、講習及び教養計画に関する事。 5. 職員の共済組合、退職手当組合に関する事。 6. 人事及び服務に関する事。 7. 給与の支払い及び所得税の源泉徴収に関する事。 8. 消防用物品の購入に関する事。 9. 庶務、庁用物品の購入及び保全に関する事。 10. 財産の維持管理に関する事。 11. 消防職員委員会に関する事。 12. 他の課(係)に属しない事項に関する事。
		広 報 企 画	1. 議会に関する事。 2. 条例、規則、規程及び例規に関する事。 3. 文書の收受、発送及び保全に関する事。 4. 予算の編成執行管理及び決算に関する事。 5. 組合消防計画に関する事。 6. 消防車両及び消防施設の整備保全に関する事。 7. 消防車両及び消防施設の整備計画に関する事。 8. 消防相互応援協定に関する事。
本 部	予防課	予 防 係	1. 火災予防思想の普及啓発に関する事。 2. 防火管理者資格講習に関する事。 3. 組合消防広報に関する事。 4. 火災の証明に関する事。 5. 火災統計報告及び消防年報に関する事。 6. 開発行為の事前指導に関する事。
		指 導 係	1. 防火対象物の違反処理に関する事。 2. 消防用設備の設置に伴う統括指導に関する事。 3. 防火対象物の公示公表に関する事。 4. 自衛消防隊の訓練指導に関する事。 5. 火災の原因及び損害調査に関する事。 6. 住宅防火診断に関する事。 7. 女性、幼少年防火クラブの事務に関する事。
		危 険 物 係	1. 危険物製造所等の許認可及び検査に関する事。 2. 危険物の保安及び災害調査に関する事。 3. 危険物製造所等の立入検査及び違反処理に関する事。 4. 揖斐郡危険物安全協会の事務に関する事。 5. 液化石油ガス等意見書の作成及び指導に関する事。 6. 火薬類取締法の施行に関する事。 7. 高圧ガス保安法の施行に関する事。 8. ガス事業法の施行に関する事。 9. 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律の施行に関する事。
	警防課	警 防 係	1. 消防部隊の出動計画に関する事。 2. 災害出動部隊に関する情報収集及び指示の伝達に関する事。 3. 消防業務計画に関する事。

消 防 本 部	警防課	警防係	4. 防災関係機関との通信に関する事。 5. 災害情報等の広報及び案内に関する事。 6. 消防協会の事務に関する事。 7. 自主防災訓練等の指導に関する事。 8. 消防団との連絡調整に関する事。
		救助係	1. 救助統計報告及び消防年報に関する事。 2. 救助業務計画に関する事。
		救急係	1. 救急等の証明に関する事。 2. 救急統計報告及び消防年報に関する事。 3. 救急業務計画に関する事。
	指令室	通信指令係	1. 災害通報の受理に関する事。 2. 出動指令に関する事。 3. 指令業務に係る記録及び統計に関する事。 4. 気象情報、災害情報の収集及び伝達に関する事。
		施設整備係	1. 救急医療情報システムの運用に関する事。 2. 消防防災通信の運用及び統制に関する事。 3. 指令システムに係るコンピュータの管理及び運用に関する事。 4. 通信機器の維持管理に関する事。

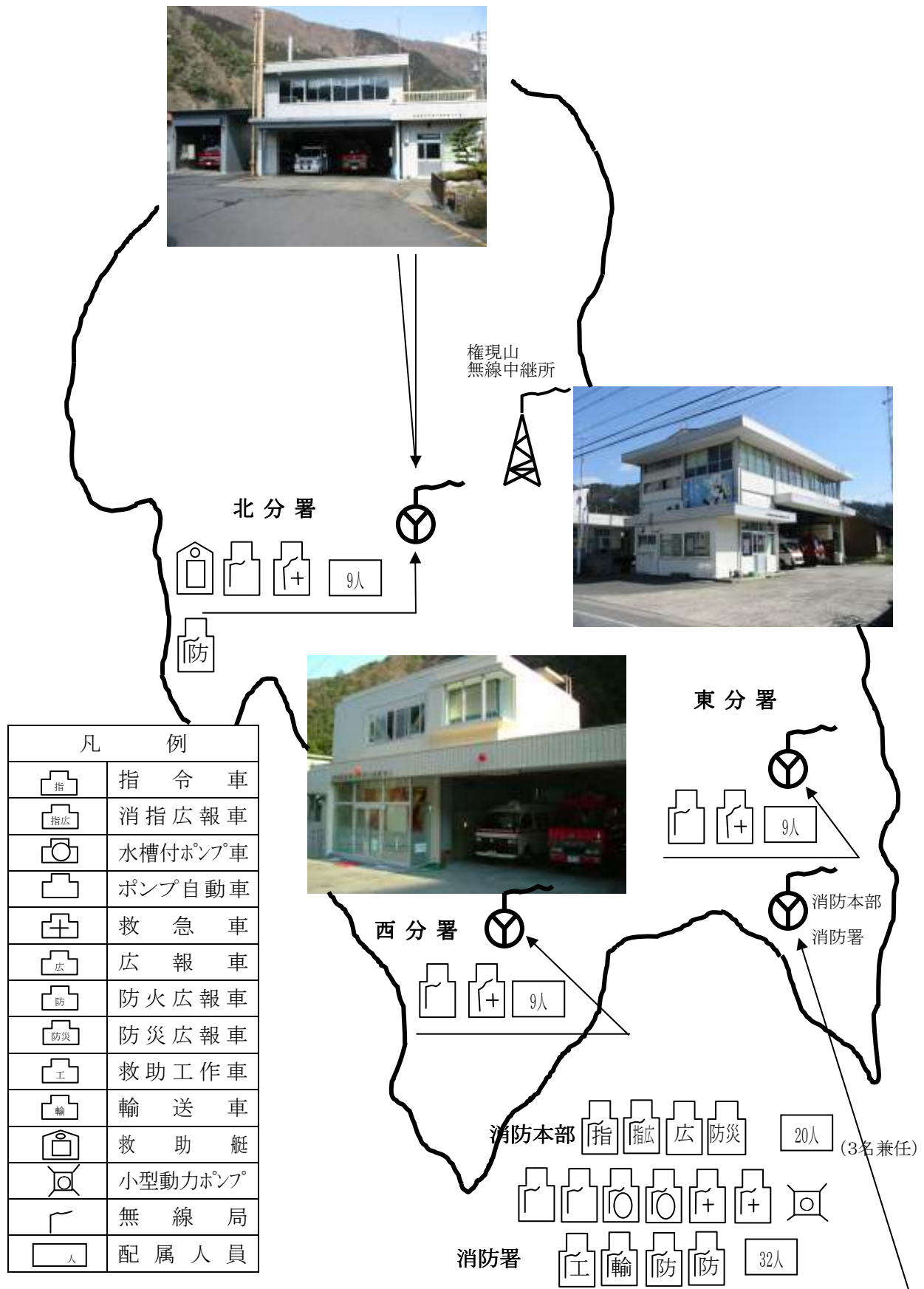
消 防 署 の 事 務 分 掌

消 防 署	1. 火災、救助等の災害防ぎよに関する事。 2. 消防、救助訓練に関する事。 3. 消防用水利施設の調査、点検に関する事。 4. 消防団の訓練指導に関する事。 5. 消防、救助用機械器具の維持管理に関する事。 6. 火災、救助活動報告に関する事。 7. 職員の教養訓練に関する事。 8. 公印の管守に関する事。 9. 職員手当関係に関する事。 10. 職員の勤務に関する事。 11. 火災予防思想の普及啓発に関する事。 12. 消防用設備等の設置指導及び検査に関する事。 13. 防火対象物の立入検査及び指導に関する事。 14. 火災予防に係る各種届出書の受理に関する事。 15. 火災の原因及び損害の調査に関する事。 16. 救急災害活動に関する事。 17. 救急活動報告書及び統計に関する事。 18. 職員の救急救養訓練に関する事。 19. 救急用機械器具の維持管理に関する事。 20. 救急救命の普及啓発に関する事。 21. その他消防長から命ぜられた事項
分 署	1. 火災救急、救助等の災害防ぎよに関する事。 2. 消防教養訓練に関する事。 3. 消防用水利施設の調査、点検に関する事。 4. 消防団の訓練指導に関する事。 5. 消防及び救急用機械器具の維持管理に関する事。 6. 防火対象物の立入検査及び指導に関する事。 7. 火災予防に係る各種届出書の受理に関する事。 8. その他火災予防に関する事。 9. その他消防長から命ぜられた事項

消 防 庁 舎 の 概 要

	本 部 ・ 署	防災センター	東 分 署	北 分 署	西 分 署
所 在 地	揖斐郡大野町 中之元 824番地		揖斐郡揖斐川町 谷汲徳積 2016番地の1	揖斐郡揖斐川町 東横山 997番地	揖斐郡揖斐川町 春日六合高橋西 3077番地
敷地面積	3,790.0㎡		340.0㎡	1,310.0㎡	1,137.3㎡
建築面積	537.1㎡	481.99㎡	169.0㎡	173.5㎡	140.5㎡
延べ面積	856.9㎡	977.30㎡	238.1㎡	245.5㎡	326.4㎡
構 造	鉄 筋 鉄 骨 コンクリート造り	鉄骨A L C	鉄骨ブロック造	鉄 筋 鉄 骨 コンクリート造り	鉄 筋 鉄 骨 コンクリート造り
階 層	2階建て 1部3階建	3階建	2階建	2階建	2階建
完 成 年 月 日	昭和45年 12月14日	平成10年 3月23日	昭和46年 10月15日	昭和49年 12月3日	昭和49年 12月3日
増 築 等	昭和48年10月 9日 本部・署車庫増築 189. 9 ㎡ 昭和55年 2月28日 本部・署訓練場拡張 1, 804. 0 ㎡ 昭和56年10月31日 本部・署訓練塔建築 17. 6 ㎡(延べ48㎡) 昭和62年10月31日 消防署・待機室増設 68. 9 ㎡ 平成 5年 8月31日 藤橋分署・救助艇格納庫増設 55. 0 ㎡ 平成 6年10月31日 谷汲分署・事務室増設 10. 44 ㎡ 平成10年 3月23日 消防庁舎・防災センター増築 977. 3 ㎡ 平成15年10月31日 消防署西分署・耐震補強工事実施 140. 5 ㎡ 平成16年 8月 3日 消防本部(署)・耐震補強工事実施 291. 96 ㎡				

消 防 施 設 ・ 人 員 の 配 備 状 況



消 防 水 利 の 状 況

水 利 別		合 計	揖 斐 川 町	大 野 町
合 計		2,327	1,248	1,079
消 火 栓		1,786	854	932
防 火 水 槽	小 計	355	318	37
	1 0 0 m ³ 以 上	3	3	
	40 ～ 100 m ³ 未 満	313	283	30
	20 ～ 40 m ³ 未 満	39	32	7
そ の 他	小 計	186	76	110
	井 戸	101		101
	プ ー ル	26	17	9
	河 川 ・ 溝 等	59	59	
	濠 ・ 池 等			

基準消防力と現有消防力の比較

区 分		基 準 数	現 有 数	不 足 数
署 所 の 数		5	4	1
車 両 数	消 防 ポ ン プ 自 動 車	7	6	1
	は し ご 自 動 車	1	0	1
	化 学 消 防 自 動 車	1	消防ポンプ車代替 1	0
	特 殊 車 等	5	5	0
	救 急 自 動 車	5	5	0
	救 助 工 作 車	1	1	0
	合 計	20	18	2
人 員 数	警 防 要 員	消防ポンプ自動車 6台 救 急 自 動 車 3台 化 学 消 防 車 1台 特 殊 車 等 1台 救 助 工 作 車 1台 救 急 自 動 車 2台 $4 \times 2 \times 2 \times 1.515$ $2 \times 2 \times 4 \times 1.515$ (乗換運用) $4 \times 2 \times 2 \times 1.515$ $2 \times 2 \times 2 \times 1.515$		
	救 助 の た め の 要 員 数	0	0	0
	通 信 員	9	9	0
	予 防 要 員	7	4	3
	消 防 司 令 長 等	12	12	0
	庶 務 の 処 理 等 の 人 員	7	7	0
	合 計	107	78	29

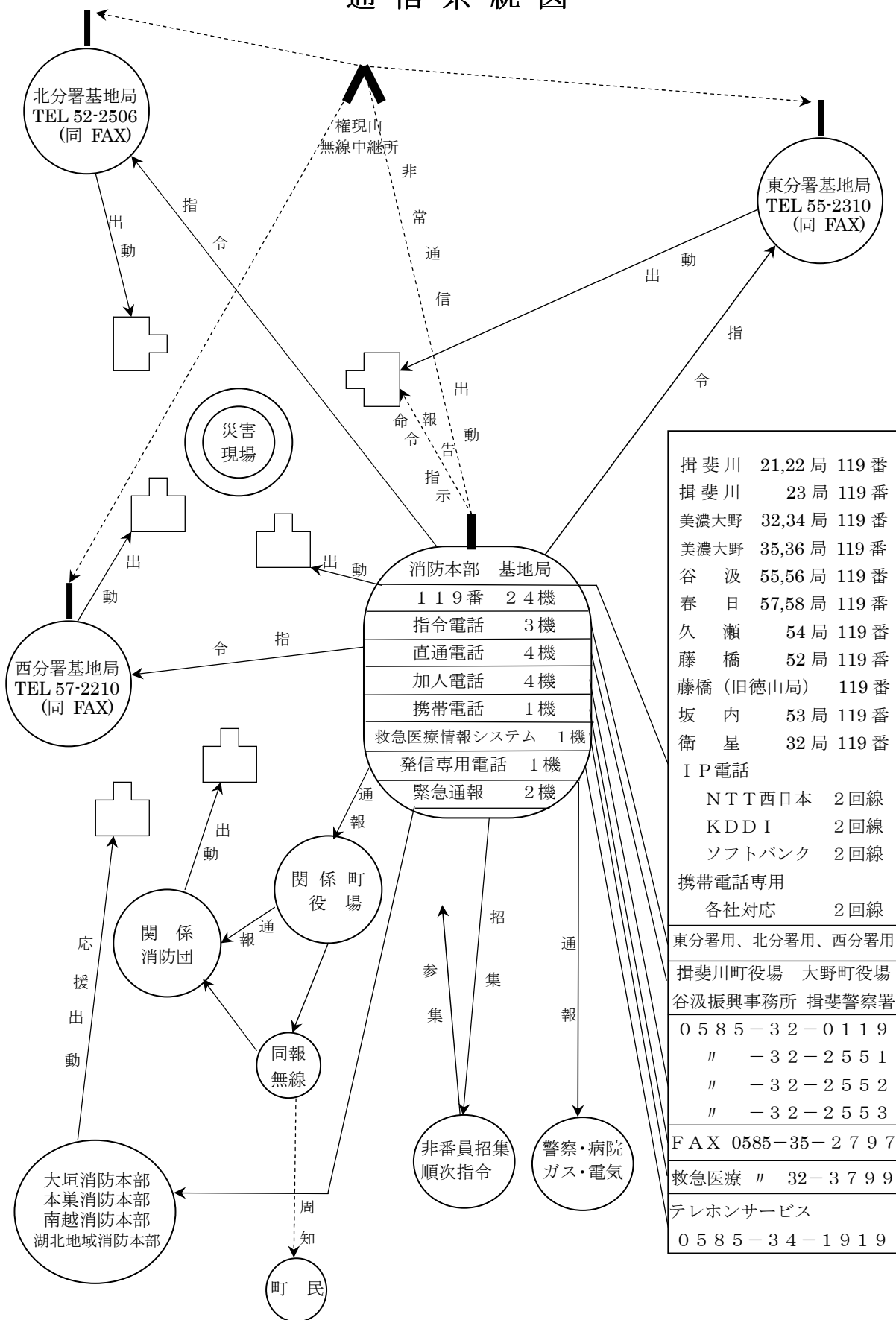
主要機械器具の配備状況

	機 械 器 具 名	合 計	消 防 署	東 分 署	北 分 署	西 分 署
救	酸 素 切 断 機	1	1			
	エ ン ジ ン カ ッ タ ー	1	1			
	エ ア ー ソ ー	1	1			
	油 圧 カ ッ タ ー	1	1			
	油 圧 ス プ レ ッ ダ ー	1	1			
助	チ ル ホ ー ル	2	2			
	マ ッ ト 式 空 気 ジ ャ ッ キ	1	1			
	削 岩 機	1	1			
	救 命 策 発 射 銃	3	3			
	ス キ ュ ー バ ー セ ッ ト	9	9			
活	救 命 用 ボ ー ト	2	2			
	救 助 艇	1			1	
	船 外 機	2	2			
	空 気 式 救 助 マ ッ ト	1	1			
	ロ ー プ 投 下 袋	2	2			
動	縛 帯 (シ ッ ト ハ ー ネ ス)	3	3			
	縛 帯 (サ バ イ バ ー ス リ ン グ)	2	2			
	バ ー テ ィ カ ル ス ト レ ッ チ ャ ー	1	1			
	レ ス キ ュ ー フ レ ー ム	1	1			
	送 排 風 機	1	1			
用	複 合 型 ガ ス 検 知 器	2	2			
	AED(自 動 式 除 細 動 器)	4	2	1		1
	半 自 動 式 除 細 動 器	2	1		1	
	ラ リ ン グ ル マ ス ク セ ッ ト	2		1	1	
	食 道 閉 鎖 式 エ ア ー ウ ェ イ セ ッ ト	5	2	1	1	1
急	挿 管 セ ッ ト	2	1			1
	輸 液 用 資 器 材 セ ッ ト	5	2	1	1	1
	心 電 図 伝 送 装 置	3		1	1	1
	自 動 車 専 用 フ ァ ッ ク ス 装 置	2		1		1
	自 動 式 人 工 呼 吸 器	4	1	1	1	1
活	喉 頭 鏡 セ ッ ト	5	2	1	1	1
	電 動 吸 引 器	5	2	1	1	1
	マ ギ ー ル 鉗 子	5	2	1	1	1
	自 動 式 心 マ ッ サ ー ジ 器	2	2			
	マ ジ ッ ク ギ ブ ス	6	3	1	1	1
動	在 宅 医 療 処 置 セ ッ ト	5	2	1	1	1
	鼓 膜 温 度 検 知 式 体 温 計	2	1		1	
	ベ ッ ド サ イ ド モ ニ タ ー	6	3	1	1	1
	シ ョ ッ ク パ ン ツ	4		1	2	1
	バ ッ ク ボ ー ド	8	5	1	1	1
用	ス ピ ー ド ボ ー ド	5	2	1	1	1
	外 傷 セ ッ ト	5	2	1	1	1
	ア イ シ ン グ キ ッ ド	5	2	1	1	1
	分 娩 セ ッ ト	5	2	1	1	1
	放 水 銃	2	1		1	
消 防 活 動 用	ジ ェ ッ ト シ ュ ー タ ー	50	20	10	10	10
	消 防 ホ ー ス (6 5 ミ リ)	351	195	49	61	46
	消 防 ホ ー ス (5 0 ミ リ)	160	79	28	26	27
	チ エ ン ソ ー	10	4	2	2	2
	発 電 投 光 器	10	7	1	1	1
	空 気 ・ 酸 素 呼 吸 器	31	25	2	2	2

配置車両一覧表

所 属	車 両 名	登 録 番 号	車 名 年 式	排気量・HP	ポンプ吸別等	備 考
消 防 本 部	指 令 車	岐阜800さ5294	ニッサン H13	3274cc		日本消防協会寄贈
	防災広報車	岐阜78 ほ 8078	ニッサン H10	1838cc		日本消防協会寄贈
	指令広報車	岐阜88 め 2834	三 菱 H 6	1460cc		日本消防協会寄贈
	広 報 車	岐阜400そ 820	ト ヨ タ H14	1496cc		美濃大野ライオンズクラブ寄贈
	訓練指導車	岐阜100す 961	マ ツ ダ H15	2000cc		日本宝くじ協会寄贈
消 防 署	タ ン ク 車	岐阜88 ひ2043	日 野 H 9	7960cc 215	野口 A1	日本損害保険協会寄贈
	タ ン ク 車	岐阜800 は 1296	日 野 H18	6400cc	森田 A2	国庫補助 (防災設備整備費補助)2000L
	ポ ン プ 車	岐阜88 り 234	三 菱 S61	3560cc 100	日機 A2	
	ポ ン プ 車	岐阜88 る9837	日 野 H 7	7961cc 210	日機 A2	
	救助工作車	岐阜88 ひ 837	日 野 H 2	7410cc 195		クレーン・照明付
	輸 送 車	岐阜830ま 119	い す ず H13	8220cc 225		クレーン
	救 急 車	岐阜800す9239	ト ヨ タ H19	2690cc	高規格車	国庫補助 (防災設備整備費補助)
	救 急 車	岐阜88 る9345	ニッサン H 7	2663cc 85	2B	日本消防協会寄贈
	防火広報車	岐阜430 ち119	ト ヨ タ H17	2490cc		
	防火広報車	岐阜480 う6075	ダイハツ H18	650cc		
東 分 署	ポ ン プ 車	岐阜88 る5687	三 菱 H 4	4214cc 125	日機 A2	
	救 急 車	岐阜800す5260	ト ヨ タ H17	3370cc	高規格車	平成17年度岐阜県振興補助 金助成車両
北 分 署	ポ ン プ 車	岐阜88 る4631	ト ヨ タ H 3	3662cc 105	日機 A2	
	救 急 車	岐阜830る 119	ニッサン H14	3498cc 240	高規格車	安田生命保険相互会社寄贈
	消防救助艇	第240-35186	マーキュリー H 5	2331cc 174	森田	1ﾄﾝ級
	防火広報車	岐阜41 く8582	ス ブ キ H 4	657cc 42		美濃大野ライオンズクラブ寄贈
西 分 署	ポ ン プ 車	岐阜88 る4632	ト ヨ タ H 3	3662cc 105	日機 A2	
	救 急 車	岐阜88 ろ4646	ト ヨ タ H 9	3378cc 180	高規格車	

通信系統図



通 信 施 設 の 状 況

			合 計	権現山	本部・署	東分署	北分署	西分署		
無線 施設	固 定 局 1 0 W		2	1	1					
	基 地 局		1 0 W	4		1	1	1	1	
			2 5 W	1	1					
	移 動 局	車 載 2 5 W		8		5		1	2	
		車 載 1 0 W		13		10	2	1		
		携 帯 局	1 0 W		2		2			
			5 W		3			3		
			1 W		18		14	2		2
有線 施設	火 災 専 用 電 話		12		12					
	指 令 電 話		3			1	1	1		
	直 通 電 話		6		6					
	発 信 専 用 電 話		1		1					
	一般加入電話(FAX含む)		9		6	1	1	1		

無 線 電 話 機 の 配 置 状 況

呼 出 名 称	種別	出力(W)	配 置 場 所	呼 出 名 称	種別	出力(W)	配 置 場 所
いびしょうぼう	固定	10	指 令 室	い び 6 2	移動	10	防火広報2号車
いびしょうぼう ごんげんやま	固定	10	無 線 中 継 所	い び 6 3	移動	10	防火広報3号車
				い び 7 1	移動	25	輸 送 車
いびしょうぼう	基地	10	指 令 室	い び 2 0 1	移動	10	指令車携帯局
いびしょうぼう ごんげんやま	基地	25	無 線 中 継 所	い び 2 0 2	移動	10	指令車携帯局
				きゅうきゅういび1	移動	10	救 急 1 号 車 (高規格)
いびしょうぼうひがし	基地	10	東 分 署	きゅうきゅういび2	移動	10	救 急 2 号 車
いびしょうぼうきた	基地	10	北 分 署	い び ひ が し 1	移動	10	東分署消防車
いびしょうぼうにし	基地	10	西 分 署	きゅうきゅういびひがし1	移動	10	東分署救急車 (高規格)
い び 1	移動	10	消防1号(タンク)車	い び き た 1	移動	10	北分署消防車
い び 2	移動	25	消防2号(ポンプ)車	きゅうきゅういびきた1		25	北分署救急車 (高規格)
い び 3	移動	10	消防3号(ポンプ)車	い び に し 1	移動	25	西分署消防車
い び 5	移動	10	消防5号(タンク)車	きゅうきゅういびにし1	移動	25	西分署救急車 (高規格)
い び 4 1	移動	25	救 助 工 作 車				
い び 5 1	移動	25	指 令 車				
い び 5 2	移動	25	消防指令広報車				
い び 6 1	移動	10	防火広報1号車				

(携 帯 無 線 電 話 機)

呼 出 名 称	種別	出力(W)	配 置 場 所	呼 出 名 称	種別	出力(W)	配 置 場 所
い び 201~202	携帯	10	消防本部・署2台	いびひがし 101~102	移動	1	東 分 署 2 台
い び 101,103,104	携帯	1	消防本部・署3台	いびきた 101~103	移動	1	北 分 署 3 台
いび 102,105~114	携帯	1	消防本部・署11台	いびにし 101~102	移動	1	西 分 署 2 台

使用周波数 固定局・・・・・・364.75MHz 基地局・移動局・・・・・・150.31MHz

階級別消防職員数の推移

単位:人

調査時期	消 防 吏 員									その他の職員
	消防監	消 司 令 長	消 司 令	防 令	消 司 令 補	消 士	防 長	消 副 士 長	消 防 士	計
S45年末	(1)		1	1	2			26	30	1
S49年末	(1)	1	3	2	5			41	52	2
S55年末	1	2	2	5	15			32	57	2
S60年末		1	4	4	22			31	62	2
S63年末		1	4	4	22			31	62	2
H元年末		1	4	7	18			34	64	2
H2年末		1	4	7	26	7		18	63	2
H3年末		1	3	9	24	7		20	64	1
H4年末		1	6	10	23	15		10	65	1
H5年末		1	5	10	23	15		12	66	1
H6年末		1	5	9	26	15		15	68	1
H7年末		1	9	10	23	9		12	67	1
H8年末		1	9	10	26	9		15	70	1
H9年末		1	8	12	24	9		19	73	1
H10年末		1	9	13	21	8		20	72	1
H11年末		1	9	14	22	4		23	73	1
H12年末		1	9	14	22	4		26	76	1
H13年末		1	8	16	22	1		29	77	1
H14年末		1	8	16	22			30	77	1
H15年末		1	9	15	22	4		26	77	1
H16年末		1	9	19	20	1		27	77	1
H17年末		1	9	18	23			26	77	1
H18年末		1	9	22	19			26	77	1
H19年末		1	8	22	17			31	79	1

職 員 の 配 属 状 況

単位:人

所 属 別	消 防 吏 員								その 他の 職員	
	消 司 令 長	消 司 令	防 令	消 司 令 補	消 士	防 長	消 副 士 長	消 防 士		計
消 防 本 部	1	3		3	1				8	1
指 令 室		1		4	2			2	9	
消 防 署		4		6	4(1)			21(2)	35(3)	
東 分 署				3	3			3	9	
北 分 署				3	4			2	9	
西 分 署				3	3			3	9	
合 計	1	8		22	17(1)			31(2)	79(3)	1

()内は兼職数

(☆ 消防吏員一人あたりの管内人口 約 632人)

消防職員勤続年数

単位:人

勤続年数	消 防 吏 員							その他の職員
	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計	
36年以上		7	3				10	
35年以上			1	1			2	
34年以上		1		1			2	
33年以上			9	2			11	
32年以上				1			1	
31年以上			1	1			2	
30年以上							0	
29年以上			2				2	
28年以上							0	
27年以上			2				2	
26年以上			3				3	
25年以上				2			2	
24年以上							0	
23年以上			1	2			3	
22年以上							0	
21年以上							0	
20年以上							0	
19年以上							0	
18年以上				1			1	
17年以上							0	
16年以上				1			1	
15年以上				2			2	
14年以上						2	2	
13年以上				1		2	3	1
12年以上						1	1	
11年以上				2		2	4	
10年以上						2	2	
9年以上						3	3	
8年以上						3	3	
7年以上						3	3	
6年以上						3	3	
5年以上						1	1	
4年以上							0	
3年以上						1	1	
2年以上						1	1	
1年以上						2	2	
1年未満	1					5	6	
計	1	8	22	17	0	31	79	1

中途退職者は除く。

平均勤続 年:月	0:09	37:02	31:10	23:10		3:11	20:09	14:09
-------------	------	-------	-------	-------	--	------	-------	-------

年 齢 別 消 防 職 員 数

単位:人

年 齢 (歳)	消 防 吏 員						計	その他 の職員
	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士		
60		1	1				2	
59				2			2	
58		3	1	1			5	
57	1	2	1	1			5	
56		1	2				3	
55			1				1	
54		1	5				6	1
53				2			2	
52			2				2	
51			2				2	
50								
49								
48			1				1	
47			1				1	
46			2				2	
45			3				3	
44				1			1	
43				1			1	
42				2			2	
41								
40								
39								
38				4			4	
37								
36				1			1	
35								
34				1			1	
33				1		4	5	
32						3	3	
31						1	1	
30						4	4	
29						4	4	
28						3	3	
27						3	3	
26						1	1	
25						1	1	
24						3	3	
23						2	2	
22								
21						1	1	
20								
19								
18						1	1	
計	1	8	22	17		31	79	

平均年齢	57:07	57:08	52:03	45:07		28:06	43:01	54:11
------	-------	-------	-------	-------	--	-------	-------	-------

消防職員特技資格調 (2007/9/1現在)

単位:人

資 格 種 別			消 防 吏 員							その他の 職 員	
			消 司 防 令 長	消 防 司 令	消 司 防 補 令	消 防 士 長	消 副 士 長	消 防 士	計		
車 両 関 係	運 転 免 許	大 型 特 殊				3		3	6		
		大 型 II 種			5	1		1	7		
		大 型 I 種		5	10	12		24	51		
		中 型 I 種	1			1			2		
		普 通 II 種						1	1		
		普 通 I 種		8	22	16		30	76	1	
		大 型 自 二		3	9	4		8	24		
		普 通 自 二		3	3	4		12	22		
		牽 引			1			1	2		
	2 級 整 備 士			2				2			
	3 級 整 備 士			1	1			2			
	危険物取扱者(乙1類)						3	3			
	危険物取扱者(乙2類)						6	6			
	危険物取扱者(乙3類)						2	2			
	危険物取扱者(乙4類)		2	2	4		23	31			
	危険物取扱者(乙5類)						2	2			
	危険物取扱者(乙6類)						3	3			
	防火管理者有資格者		7	3	1			11			
警 防 関 係	救 急 救 命 士	救 急 救 命 士			4	6		4	14	74	
		救急標準課程修了者						19	19		
		救 急 II 課 程 修 了 者		6	18	11		4	39		
		救 急 I 課 程 修 了 者		2					2		
	応急手当指導員修了者		3	16	10		2	31			
	潜 水 士 免 許	潜 水 士 免 許		1	6	5		12	24		
		アクアラングライセンス		1	3	1		5	10		
		日赤水上安全法指導員		1					1		
		日 赤 水 上 救 助 員		2		1			3		
	特殊無線技師(第2級)	特殊無線技師(第2級)		7	19	10			36		
		特殊無線技師(第3級)			1	6		29	36		
		ガ ス 溶 接 技 能 者		4	10	2		2	18		
		ア ー ク 溶 接 技 能 者		2	6	1		1	10		
	ク レ ー ン 技 能 者	ク レ ー ン 技 能 者		2	16	12		16	46		
		玉 掛 技 能 者		2	4	5		12	23		
		2 級 小 型 船 舶 操 縦 士	1	1	8	12		11	33		
		2級小型船舶(湖川小出力限定)		1	2	2		1	6		
	酸 欠 危 険 作 業 主 任 者	酸 欠 危 険 作 業 主 任 者		3	11	2			16		
		チェーンソー作業従事者		1	2				3		
足場組立等作業主任者				4				4			

消 防 相 互 応 援 協 定 の 状 況

協 定 の 種 類	協 定 の 相 手 方	締 結 年 月 日 (初 度)
全 て の 災 害	大 垣 消 防 組 合 消 防 本 部	昭和46年12月15日
全 て の 災 害	本 巢 消 防 事 務 組 合 消 防 本 部	昭和51年12月25日
特 殊 災 害	西 濃 ブ ロ ッ ク の 各 消 防 本 部	昭和59年11月 1日
大 規 模 災 害 等	岐 阜 県 下 の 消 防 本 部	平成 3年 3月11日
大 規 模 災 害 等	南 越 消 防 組 合 消 防 本 部	平成 4年 10月22日
大 規 模 災 害 等	湖 北 地 域 消 防 組 合 消 防 本 部	平成18年 8月18日

5. 予 防 統 計

揖斐川町 春日



◆かすがモリモリ村リフレッシュ館

薬草の素晴らしさに触れてみて。薬草風呂と薬膳料理で心と体をリフレッシュできます。

⑧ 10時～21時(4月～9月の第三日曜は7時から、
10月～3月は8時から)

⑨ 水曜日(祝祭日なら翌日)

☎ 0585-58-0001



◆森の文化博物館

森を紹介する「森の展示室」ブナ林の秘密をさぐる「探検ランド」森に伝わる勇壮な祭りの記録「森のシアター」があります。

⑧ 9時～17時 ⑨ 水曜日(祝祭日なら翌日)

☎ 0585-58-3111

◆さざれ石公園

「君が代」にうたわれ、岐阜県の天然記念物にも指定されているさざれ石。「国歌君が代発祥の地」顕彰碑ポップアートなどのある公園として整備されています。



火災予防条例等に基づく各種届出の状況

(H9～H19)

届 出 種 別	平成 9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年
防火対象物使用開始届	17	29	29	46	45	22	26	34	34	24	24
消防設備等の工事計画届	55	58	65	68	61	52	53	40	70	57	34
炉 設 置 届	3	8	8	10	21	5	6	5	12	4	5
ボ イ ラ ー 設 置 届	11	7	7	11	20	7	4	3	12	18	1
乾 燥 設 備 設 置 届			8	33	48	1	7	13	33	23	9
給 湯 設 備 設 置 届				3	3	1	1	1		2	3
温 風 暖 房 機				1	1		2		1		
サ ウ ナ 設 備				1							
変 電 設 備 設 置 届	10	6	7	18	14	5	5	6	8	10	12
発 電 設 備 設 置 届	2	3	8	8	4	2	6	7	4	5	5
蓄 電 池 設 備 設 置 届	13	7	11	7	4	5	5	6	5	8	13
ネオン管灯設備設置届											
水素ガスを充填する気球の設置 届											
火災とまぎらわしい煙又は火炎 を発するおそれのある行為届	357	97	61	62	77	59	41	57	53	42	60
煙火打ち上げ又は仕掛け届	28	22	21	32	25	22	26	21	27	18	17
催 物 開 催 届		4	2	3	15	35	58	43	49	69	62
水 道 断 ・ 減 水 届	9	10	7	11	12	7	11	18	20	9	3
道 路 工 事 届	397	294	355	296	342	273	298	325	311	350	347
少量危険物貯蔵取扱い届	32	15	13	13	15	12	12	12	18	13	18
指定可燃物の貯蔵取扱い届					1	2	2			4	1
圧縮アセチレンガス等の貯蔵 又は取扱の開始届	13	17	18	24	13	17	14	14	12	19	21
合 計	947	577	620	647	721	527	577	605	669	675	635

消防用設備等着工・設置の状況

(H9～H19)

設 備 別	平成 9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年
屋 内 消 火 栓 設 備	7	2	6	9	7	4	5	1	2	6	5
ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	1	1	1	3	3			1	3		3
水 噴 霧 消 火 設 備											
泡 消 火 設 備											
二 酸 化 炭 素 消 火 設 備						1					
ハ ロ ゲ ン 化 物 消 火 設 備											
粉 末 消 火 設 備			1	2	1	1	1	1			
屋 外 消 火 栓 設 備			2	1	4			1	3	2	
パ ッ ケ ー ジ 型 消 火 設 備								2	1	2	2
動 力 消 防 ポ ン プ 設 備				2	2						
自 動 火 災 報 知 設 備	40	22	30	43	42	20	20	27	32	20	25
漏 電 火 災 警 報 器											
非 常 警 報 設 備	11	4	11	20	13	4	16	10	16	9	5
消防機関へ通報する火災報知設備	1	3	2	4	1	2	5	3	3	2	4
避 難 は し ご ・ す べ り 台	1	2	1	6	2	2	1		1	2	1
救 助 袋 ・ 緩 降 機		2						2	1		2
誘 導 灯 及 び 誘 導 標 識	16	8	25	35	26	17	27	20	27	15	11
合 計	77	44	79	125	101	51	75	68	89	58	58

政令で定める防火対象物の町別数

(単位:件)

業 態 別			揖斐川町	大野町	合 計	査 察 件 数
1	イ	劇場、映画館、演芸場等	1	1	2	2
	ロ	公会堂、集会場	24	12	36	33
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブ				
	ロ	遊技場、ダンスホール		6	6	2
3	イ	待合、料理店の類	9		9	9
	ロ	飲食店	15	14	29	17
4		百貨店、マーケット	20	27	47	36
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	24	3	27	15
	ロ	寄宿舍、共同住宅、下宿	35	25	60	36
6	イ	病院、診療所等	16	8	24	18
	ロ	児童、老人福祉施設	23	18	41	36
	ハ	幼稚園、養護学校	1		1	1
7		小、中、高等学校	17	10	27	25
8		図書館、博物館等	10	1	11	7
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場				
	ロ	イ以外の公衆浴場	5	1	6	3
10		車両の停車場				
11		神社、寺院、教会	8	5	13	7
12	イ	工場、作業場	77	75	152	110
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ				
13	イ	自動車車庫、駐車場	2	1	3	2
	ロ	飛行機の格納庫				
14		倉庫	19	22	41	24
15		前各号に該当しない事業所	123	24	147	96
16	イ	特別の複合用途防火対象物	13	1	14	14
	ロ	イ以外の複合防火対象物	3		3	3
17		文化財		1	1	1
19		管理者の指定する山林	1		1	
合 計			446	255	701	497

政令で定める防火対象物の状況

(H9～H19)

業 態 別		平成 9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年
1	イ 劇場、映画館、演芸場等	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2
	ロ 公会堂、集会場	54	59	62	65	75	75	78	80	37	38	36
2	イ キャバレー、カフェー、ナイトクラブ											
	ロ 遊技場、ダンスホール	7	9	10	10	9	9	7	7	7	6	6
3	イ 待合、料理店の類	11	11	10	9	9	9	7	9	10	11	9
	ロ 飲食店	23	26	27	26	29	30	29	29	28	28	29
4	百貨店、マーケット	33	40	37	41	48	50	44	46	48	47	47
5	イ 旅館、ホテル、宿泊所	38	44	39	38	37	37	37	37	35	29	27
	ロ 寄宿舍、共同住宅、下宿	34	43	39	48	51	53	61	60	66	64	60
6	イ 病院、診療所等	18	20	22	23	24	25	23	25	25	24	24
	ロ 児童、老人福祉施設	33	35	35	31	32	34	35	40	41	40	41
	ハ 幼稚園、養護学校	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1
7	小、中、高等学校	27	27	27	27	27	28	27	27	27	27	27
8	図書館、博物館等	10	10	10	10	11	11	10	10	10	10	11
9	イ 蒸気浴場、熱気浴場											
	ロ イ以外の公衆浴場	1	2	3	5	4	4	5	5	6	6	6
10	車両の停車場	2	2	2	1	1	1	1	1			
11	神社、寺院、教会	10	11	11	11	12	13	13	13	13	13	13
12	イ 工場、作業場	185	192	179	172	173	175	164	166	156	157	152
	ロ 映画スタジオ、テレビスタジオ											
13	イ 自動車車庫、駐車場	3	3	3	3	2	2	2	2	3	3	3
	ロ 飛行機の格納庫											
14	倉庫	55	54	47	47	48	49	47	46	43	45	41
15	前各号に該当しない事業所	83	94	94	104	102	103	99	100	146	147	147
16	イ 特別の複合用途防火対象物	10	7	7	13	13	14	19	21	13	14	14
	ロ イ以外の複合用途防火対象物	1	2	2	2	2	2	1	1	2	3	3
17	文化財	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
19	管理者の指定する山林	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合 計		643	696	671	692	715	730	715	731	721	717	701

用途別・工事別建築同意件数

(単位:件)

用 途 別	新 築	増 築	改 築	その他	合 計
集 会 場		1			1
飲 食 店	1				1
店 舗	5	1			6
店 舗 併 用 住 宅					
旅 館 ・ ホ テ ル		1			1
共 同 住 宅	6	1			7
病 院 ・ 診 療 施 設					
児 童 福 祉 施 設	2	1			3
幼 稚 園					
学 校					
図 書 館					
工 場 ・ 作 業 場	2	5			7
作 業 場 併 用 住 宅					
車 庫	3	4			7
倉 庫	6	15			21
事 務 所	1	2			3
専 用 住 宅	12	12			24
そ の 他	10	1			11
合 計	48	44			92

月別・工事別・構造別 建築同意件数

(単位:件)

月 別	合 計	工 事 別				構 造 別			
		新 築	増 築	改 築	そ の 他	木 造	鉄 骨 造	リ鉄 筋 コ ン ト ン 造	ブコ ン ク リ ー ク 造
1 月	3		3			2	1		
2 月	8	6	2			2	5	1	
3 月	9	4	5			4	5		
4 月	12	5	7			3	7	2	
5 月	13	7	6			5	5	3	
6 月	5	1	4			2	1	2	
7 月	1	1							1
8 月	6	3	3			4	2		
9 月	3	3				1	2		
10 月	9	4	5			5	4		
11 月	8	7	1			5	3		
12 月	15	7	8			3	10	2	
合 計	92	48	44			36	45	10	1

町別危険物施設数

施 設 別			合 計	揖斐川町	大 野 町	査察件数
総 数			353	234	119	260
製 造 所						
貯蔵所	屋 内 貯 蔵 所		20	10	10	16
	屋 外 タンク 貯 蔵 所		53	31	22	32
	屋 内 タンク 貯 蔵 所		17	12	5	14
	地 下 タンク 貯 蔵 所		95	69	26	75
	簡 易 タンク 貯 蔵 所		4	4		1
	移 動 タンク 貯 蔵 所		51	40	11	36
	屋 外 貯 蔵 所		24	15	9	13
	小 計		264	181	83	187
取扱所	給 油 取 扱 所	営 業 用	24	15	9	17
		自 家 用	34	21	13	30
	販 売 取 扱 所		1		1	
	一 般 取 扱 所		30	17	13	26
	小 計		89	53	36	73

危険物製造所等の許可・検査の状況

(単位:件)

施 設 別			設 置 許 可	変 更 許 可	水 張 検 査	水 圧 検 査	完 成 検 査 (含 変 更)
製 造 所							
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所						
	屋外タンク貯蔵所						
	屋内タンク貯蔵所						
	地下タンク貯蔵所		5				6
	簡易タンク貯蔵所						
	移動タンク貯蔵所		2	3			5
	屋 外 貯 蔵 所			1			1
	小 計		7	4			12
取 扱 所	給 油	営業用	1				
	取扱所	自家用					
	販 売 取 扱 所						
	一 般 取 扱 所						
	小 計		1				
合 計			8	4			12

危険物仮貯蔵承認申請等の状況

(単位:件)

申 請 ・ 届 出 種 別	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
危 険 物 仮 貯 蔵 ・ 取 扱 申 請	1	1		1		1	4	
危 険 物 製 造 所 等 廃 止 届	3	16	17	15	9	12	14	7
危 険 物 種 類 ・ 数 量 変 更 届	5	2	9	3	2	3	2	1
危 険 物 製 造 所 等 譲 渡 ・ 引 渡 届	4	9	11	3	2	1	2	2
危 険 物 保 安 監 督 者 選 ・ 解 任 届	28	24	15	28	10	22	23	9
危険物製造所等仮使用承認申請	4	3	3	3	3	2	4	
合 計	45	55	55	53	26	41	49	19

6. 火 災 統 計

揖斐川町 久瀬



◆夫婦滝

夏には岩肌に初々しい木々の緑を、秋には燃え立つ紅葉を映して仲良く並ぶ二つの滝。白糸が舞うような華麗な姿に時の経つのを忘れます。



◆月夜谷ふれあいの里

ソバ打ち、米や野菜の収穫、魚釣り、こんにゃく作り、わら細工など豊かな自然の中で思いっきり田舎暮らしを満喫できます。

⑧ 8時～17時、4月～12月
(利用日の3ヶ月前から予約受付)

⑨ 火曜日

☎ 0585-54-2081



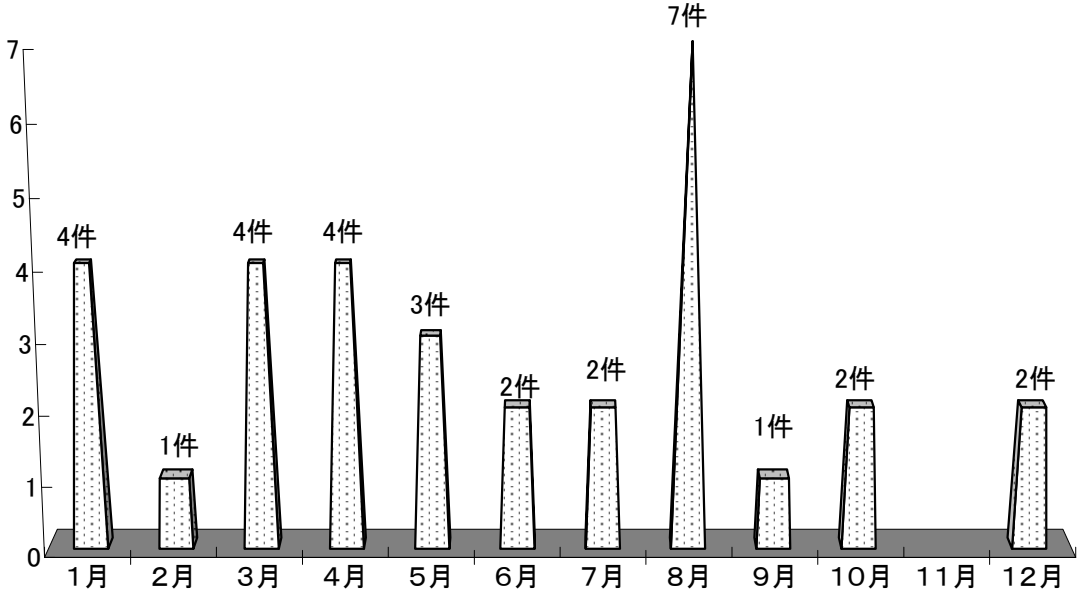
町別火災状況

区 分	平成19年	平成18年	比較	町 別	
				揖斐川町	大野町
出 火 件 数	32	33	△ 1	21	11
火 災 種 別	建 物	18	14	4	6
	林 野	2	2	2	
	車 両	3	4	△ 1	1
	そ の 他	9	13	△ 4	4
焼 損 棟 数	全 焼	8	4	4	2
	半 焼	1	2	△ 1	1
	部 分 焼	5	2	3	2
	ぼ や	6	6	4	2
焼 損 面 積	建 物 床 面 積 m ²	887	1311	△ 424	565
	建 物 表 面 積 m ²	10	11	△ 1	10
	林 野	7	1	6	7
死 者 (人)	1	2	△ 1		1
負 傷 者 (人)	4	3	1	3	1
罹 災 世 帯 数	9	10	△ 1	3	6
罹 災 区 分	全 損	3	3	1	2
	半 損	1	1		1
	小 損	7	4	3	3
罹 災 人 員 (人)	30	36	△ 6	14	16
損 害 額	建 物 (千 円)	19,869	77,654	△ 57,785	8,306
	林 野 (千 円)	90		90	90
	車 両 (千 円)	6,416	2,000	4,416	5,716
	その他 (千 円)	2,431	5	2,426	2,431
	合 計 (千 円)	28,806	79,659	△ 50,853	14,112
				14,112	14,694

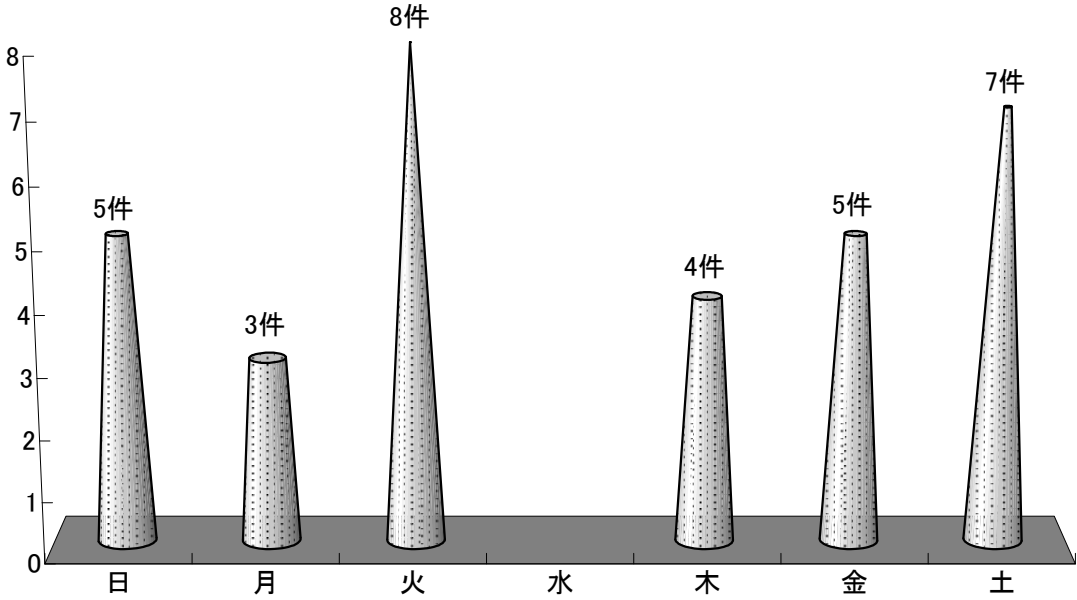
参 考

1 日 当 た り の 平 均 出 火 件 数	約	0.09件
1 日 当 た り の 平 均 損 害 額	約	78,921円
火 災 1 件 当 り の 損 害 額	約	900,188円
1 世 帯 当 り の 損 害 額	約	1,870円
1 人 当 り の 損 害 額	約	577円
出 火 率 (人 口 1 万 人 当 り の 火 災 件 数)	約	6.40件

月別火災件数



曜日別火災件数



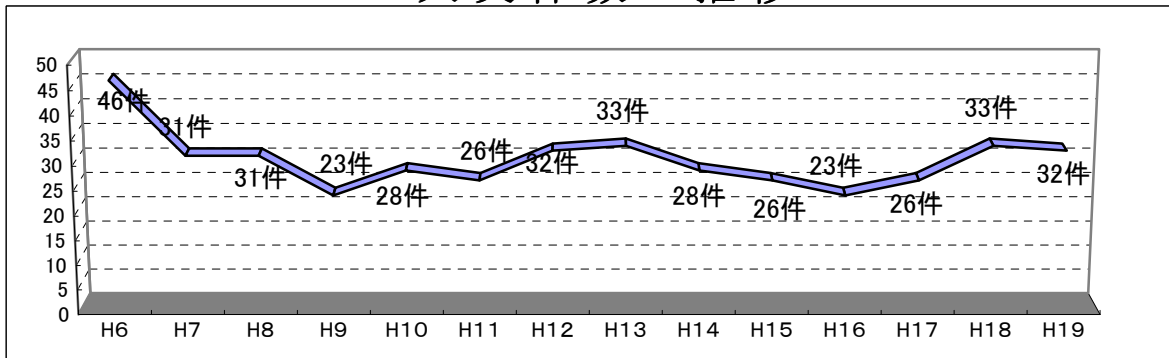
出火時間別火災状況

区分 時間	合 計	建 物	林 野	車 両	その他	建物㎡	林 野 a	死 者	負傷者	損害額 (千円)
	32	18	2	3	9	887	75	1	3	28,806
0～1	2	1		1		137			1	6,692
1～2	1	1								150
2～3	2				2					2,431
3～4	3	3				250				4,838
4～5										
5～6	1				1					
6～7										
7～8										
8～9										
9～10	2	2				226				2,113
10～11	3	1	1		1		7			120
11～12	3	1			2		40		1	
12～13	4	2		1	1	39	17	1		2,027
13～14	1	1				9				
14～15	2		1		1		11			
15～16	3	2			1	140				847
16～17	1	1								22
17～18	1	1								57
18～19										
19～20	1			1						700
20～21										
21～22	1	1				86			1	8,309
22～23										
23～24	1	1								500

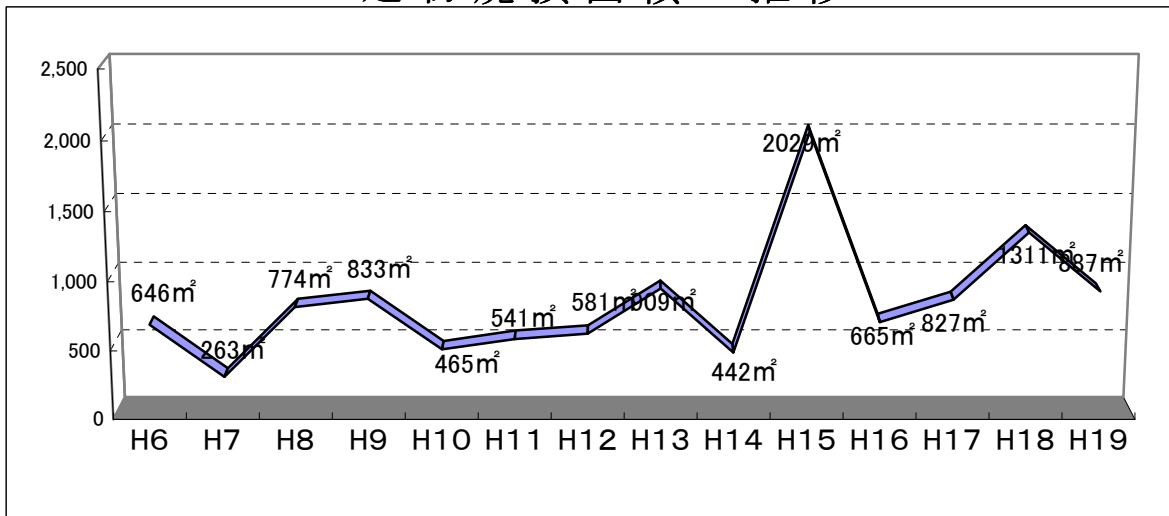
月 別 火 災 状 況

区 分		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
出 火 件 数		32	4	1	4	4	3	2	2	7	1	2		2
火 災 種 別	建 物	18	3		4	3	1	1	1		1	2		2
	林 野	2		1						1				
	車 両	3	1			1				1				
	そ の 他	9					2	1	1	5				
焼 損 棟 数		20	3		4	3	2	1	1		1	3		2
焼 損 区 分	全 焼	8			2	2	2	1	1					
	半 焼	1										1		
	部 分 焼	5	1		2							2		
	ぼ や	6	2			1					1			2
焼 損 面 積	建 床面積㎡	887	34		228	202	102	57	226			38		
	物 表面積㎡	12			5	1						4		2
	林 野 (a)	7		6						1				
死 傷 者	死 者 (人)	1			1									
	負傷者(人)	4			2	1		1						
罹 災 世 帯 数		11	2		3	2						2		2
罹 災 程 度	全 損	3			2	1								
	半 損	1										1		
	小 損	7	2		1	1						1		2
損 害 額 (千 円)		28,806	1,478	90	10,717	6,533	2,595	3,102	2,144	916	500	652		79
火 災 種 別	建 建 物	15,419	113		9,249	1,708	118	2,350	1,274			607		
	物 収 容 物	4,450	665		1,468	25	77	752	839		500	45		79
	林 野	90		90										
	車 両	6,416	700			4,800				916				
	そ の 他	2,431					2,400		31					

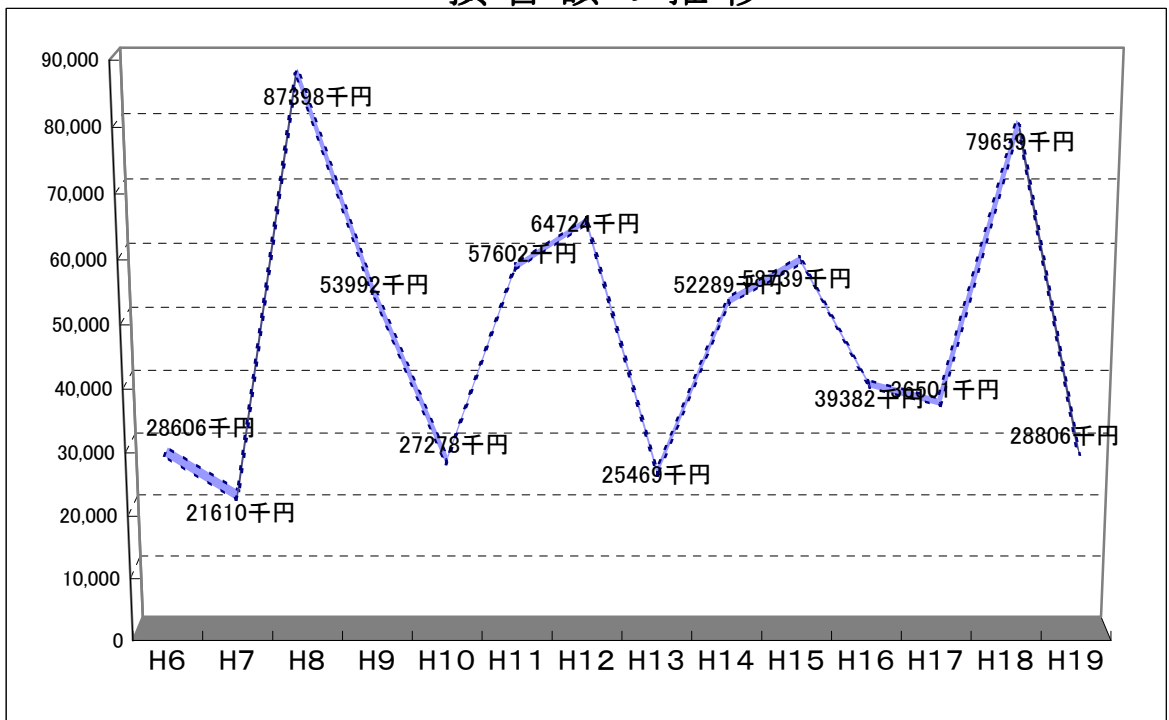
火災件数の推移



建物焼損面積の推移



損害額の推移



原因別火災件数

出火原因	火災件数（件）
不明	6
たき火	3
枯草焼き	3
電気ストーブ	3
ガスコンロ	3
火遊び	2
間接雷	2
車体等の衝撃火花	2
たばこ	1
溶断機	1
空気圧縮機	1
放火の疑い	1
放火	1
火のついたゴミ	1
制御盤	1
フライヤー	1
合計	32

四季別火災状況

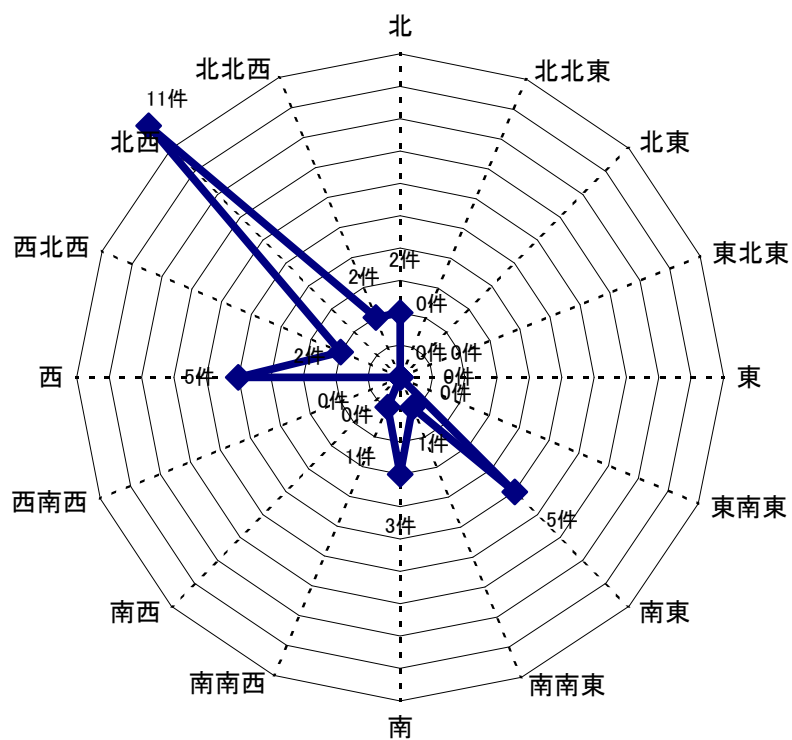
季節		火災件数(件)	焼損面積		損害額（千円）
			建物火災 (㎡)	林野火災 (a)	
春季	3・4・5月	11	532		19,845
夏季	6・7・8月	11	283	1	6,162
秋季	9・10・11月	3	38		1,152
冬季	12・1・2月	7	34	6	1,647
合計		32	887	7	28,806

町村別火災発生件数の状況

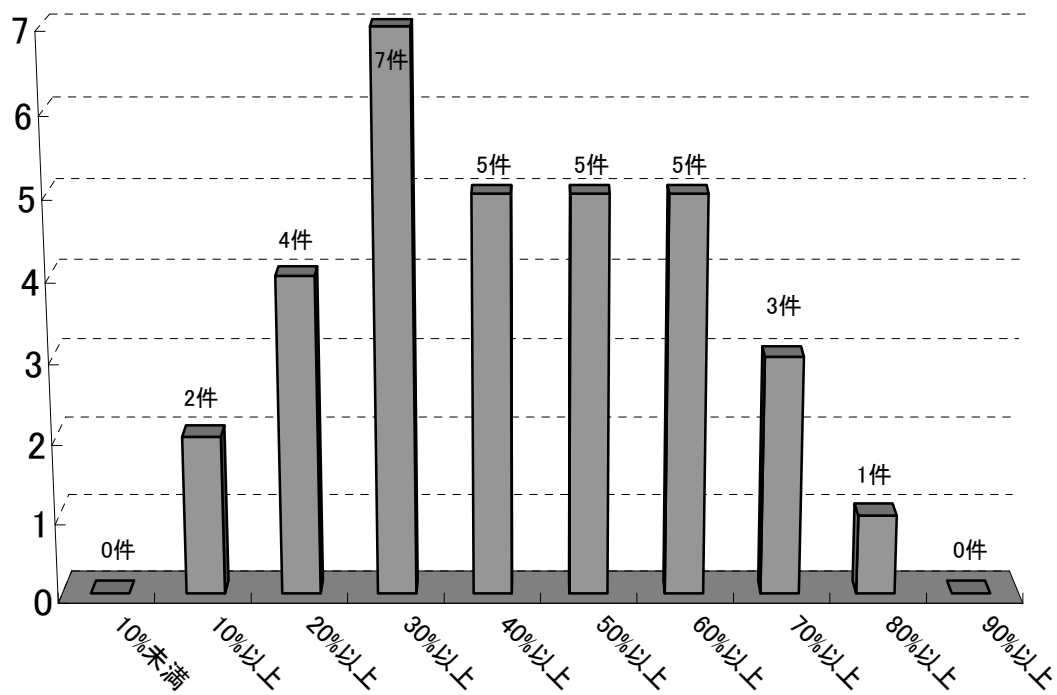
(平成4年～平成19年累計)

平成 年	町 村 計	揖 斐 川 町	大 野 町	谷 汲 村	春 日 村	久 瀬 村	藤 橋 村	坂 内 村
4	30	9	16	2			3	
5	25	1	14	8			2	
6	46	20	17	2	1	2	2	2
7	31	14	12	2	1	1	1	
8	31	8	13	3	3	2	2	
9	23	9	10	1	2		1	
10	28	13	11	2			1	1
11	26	5	13	6	1		1	
12	32	10	15	4	1	1	1	
13	33	3	20	5	1	1	2	1
14	28	9	12	3		1	2	1
15	26	6	12	4	1		3	
16	23	8	9	2	2		1	1
17	26	16	10					
18	33	19	14					
19	32	21	11					
計	382	171	209	44	13	8	22	6

風向別火災発生状況



湿度別火災発生状況



7. 救 急 統 計

揖斐川町 藤橋



隠し宝 藤橋城は
星鑑寮の
プラネタリウム

南北朝時代にあったと言われる砦にちなんで建てられた藤橋城。
1階はプラネタリウムになっていて、四季折々の星座を見ることができます。

⑧ 3月20日～12月20日、9時半～17時

☎ 0585-52-2611



町別救急件数

		平成 十九 年	平成 十八 年	増 減	合 計	揖斐川町	大野町	管 外
出 場 件 数		1,629	1,617	12	1,629	870	755	4
搬 送 件 数		1,546	1,545	1	1,546	820	722	4
搬 送 人 員		1,629	1,601	28	1,629	857	767	5
出 場 件 数 の 内 訳	火 災	2	2	0	2	1	1	
	自然災害	0		0	0			
	水 難	1	3	△ 2	1	1		
	交通事故	238	232	6	238	98	139	1
	労働災害	31	28	3	31	16	15	
	運動競技	12	5	7	12	8	4	
	一般負傷	197	220	△ 23	197	105	90	2
	加 害	4	5	△ 1	4	2	2	
	自損行為	16	22	△ 6	16	10	6	
	急 病	1,011	974	37	1,011	541	469	1
	そ の 他	117	126	△ 9	117	88	29	
	計	1,629	1,617	12	1,629	870	755	4
不 搬 送		83	72	11	83	50	33	

平均出場件数

4.46 件／1日

平均搬送人員

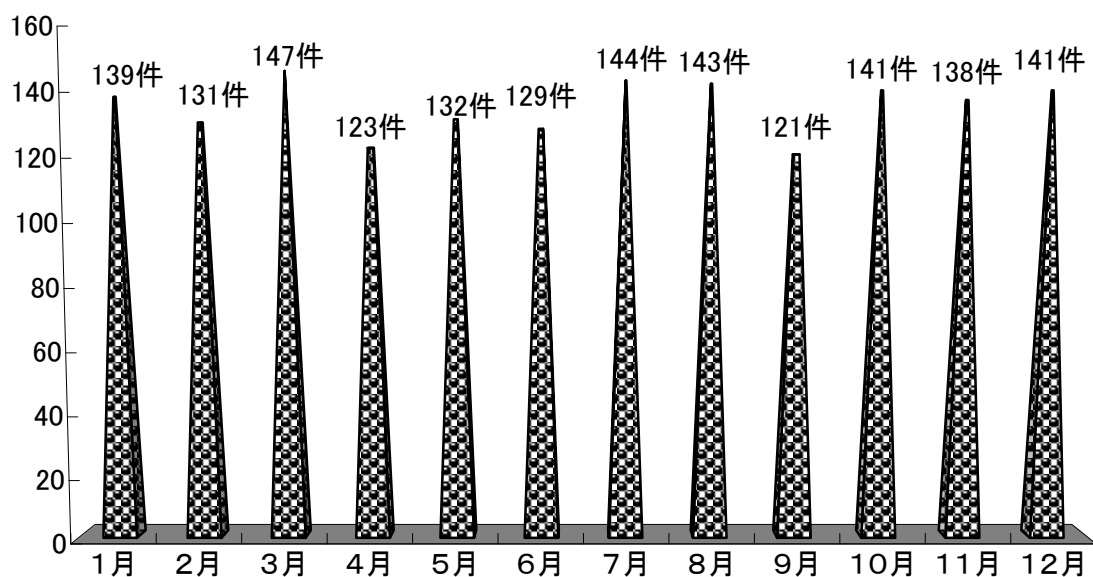
4.46 人／1日

管内人口に占める救護人員の比率

3.26 %

(年間31人に1人を搬送)

月別救急件数



曜日別救急件数

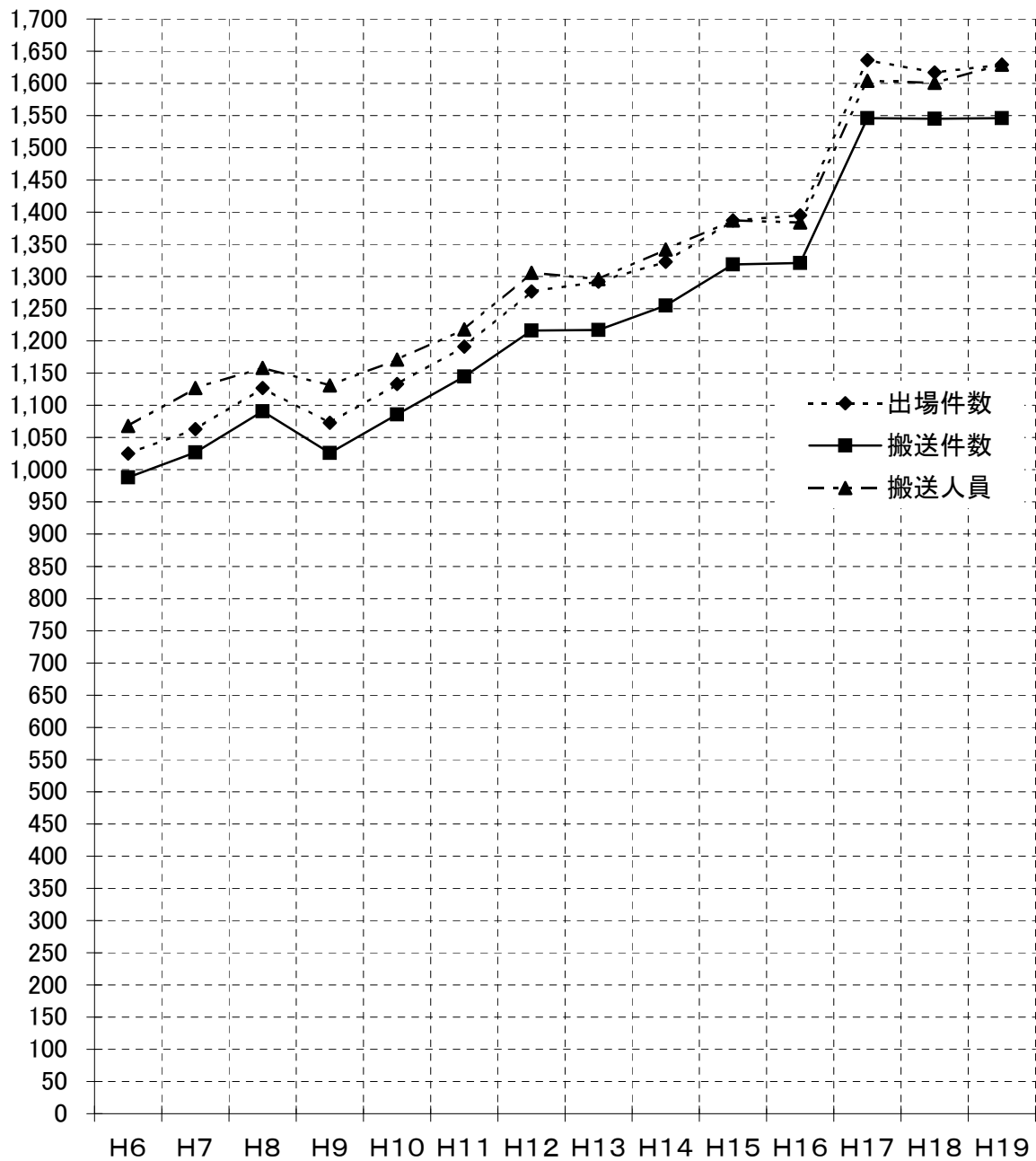
合計	日	月	火	水	木	金	土
1,629	237	255	242	232	219	218	226

性別・年齢別・程度別救護人員

性別	合計	年齢別								程度別			
		0 才	10 才	20 才	30 才	40 才	50 才	60 才	70 以上	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症
男性	844	57	49	47	66	58	102	105	360	16	132	296	400
女性	785	61	34	39	54	43	80	86	388	17	124	260	384
合計	1629	118	83	86	120	101	182	191	748	33	256	556	784

救急件数の推移

(平成6年～平成19年)

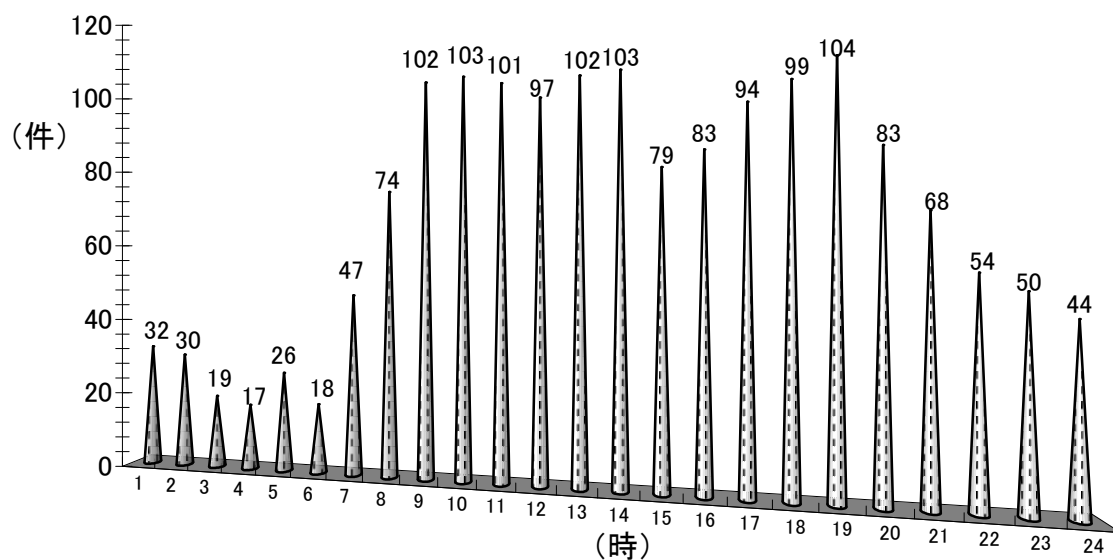


	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
出場件数	1,025	1,063	1,127	1,073	1,133	1,191	1,277	1,292	1,323	1,387	1,395	1,636	1,617	1,629
搬送件数	988	1,027	1,091	1,026	1,086	1,145	1,216	1,217	1,255	1,319	1,321	1,546	1,545	1,546
搬送人員	1,068	1,127	1,158	1,131	1,171	1,218	1,306	1,296	1,342	1,387	1,384	1,604	1,601	1,629

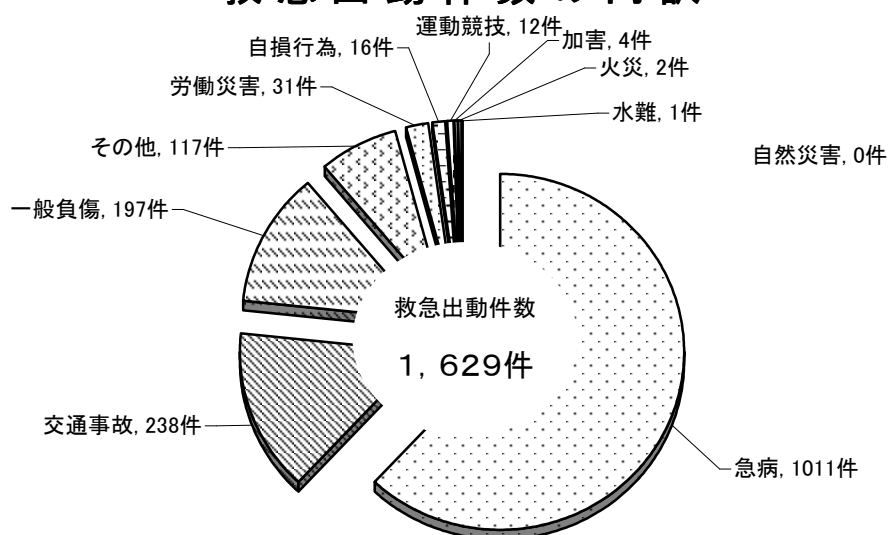
覚知別救急出動件数

119番	加入電話	かけつけ	自己覚知	その他	合計
1,320	175	82	0	52	1,629

時間別救急出動件数



救急出動件数の内訳



救急講習等実施状況

突然の事故や病気で家族や知り合いの人が倒れたとき、救急車や医師が到着するまでの間に、現場に居合わせた人がいかに適切な応急手当を行うかによって、倒れた人の予後に大きな影響を与えることは医学的にも実証され、また、一般住民のAED（自動体外式除細動器）の使用が可能となり救命率の向上が見込まれているところです。

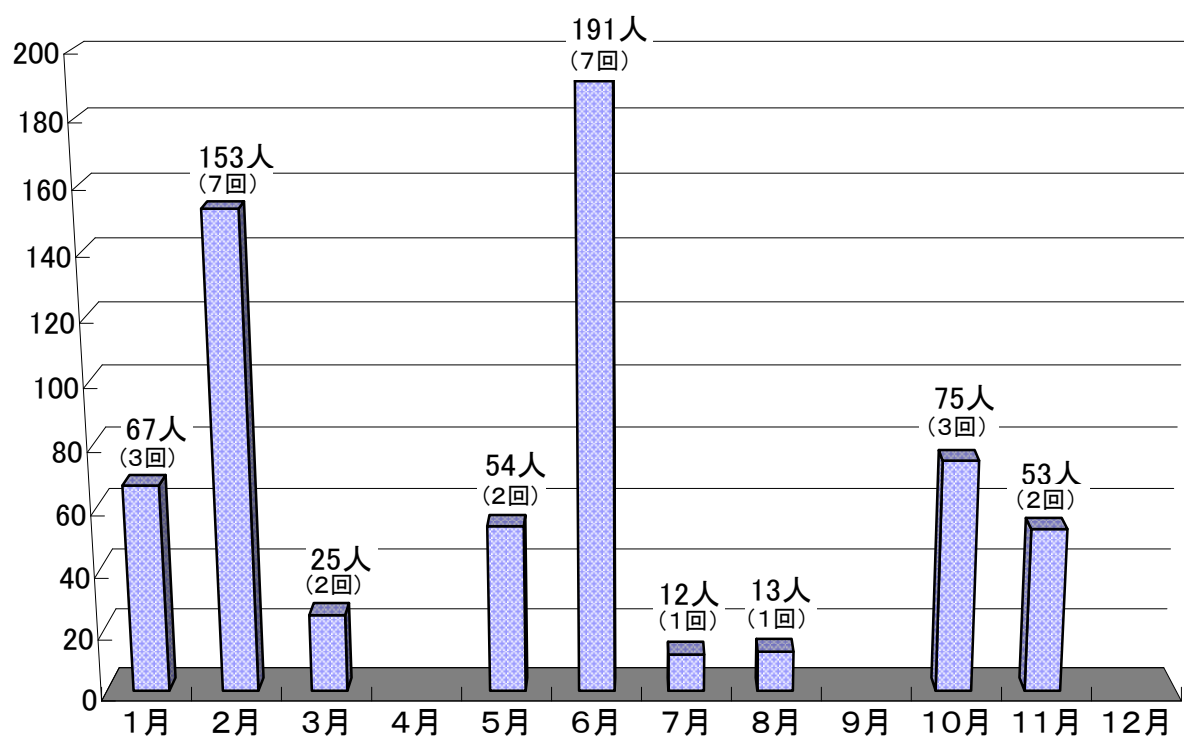
この救急車が到着するまでの僅かな時間に、その場にいる人が適切な応急手当ができるよう、積極的に応急手当の講習会を開催しています。

区 分		合計	事業所	消防団	女性 防火	学校 PTA	その他 の団体
合 計	回 数	111	30	8	9	35	29
	人 員	3381	631	172	442	1391	745
救命講習	上級救命 講習	回 数	2			2	
		人 員	48			48	
	普通救命 講習 I	回 数	26	6	8		4
		人 員	595	114	172	222	87
救命講習以外の 救急講習	回 数	83	24		1	33	25
	人 員	2738	517		220	1343	658





救命講習月別受講者一覧表



月別・診療科目別救急医療情報照会の状況

(単位:件)

区分 月	内科	小児科	外科	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	泌尿器科	脳神経外科	呼吸器科	呼吸器外科	消化器科	循環器科	心臓血管外科	その他の	合計
1月	3	5		2		2	2		1							1	16
2月	2	3	1			3	2									1	12
3月	3	4				2	2									1	12
4月	4	4	1	1		3	1		1							1	16
5月	3	3	1			2	1									1	11
6月	1	3	5			1	2		1								13
7月	2	6	2	1		4											15
8月	1	3	2	2		2	2									1	13
9月	2	4		3		1	3		1							1	15
10月	2	1	1	6												1	11
11月	1	3	4	2		4	1	1								1	17
12月	8	16	1	3		3	4	1								3	39
合計	32	55	18	20	0	27	20	2	4	0	0	0	0	0	0	12	190

独居老人緊急通報システム通報後の処理状況

処 置 別 町 別	揖斐川町	大野町	合 計
救急車出動	16	7	23
消防車出動			
消防署職員			
協力員・民生委員	4	2	6
役場職員・ヘルパー	4		4
誤報・うっかり押し	61	11	72
誤報・機器故障	24	5	29
誤報・ペット	1		1
テスト通報	93	22	115
電池切れ・停電	85	9	94
そ の 他	2		2
合 計	290	56	346

平成19年12月31日現在 取付戸数 363戸

8. 救 助 統 計

揖斐川町坂内



夜叉ヶ池と伝説



八太夫という長者が、照り続きの村を救いたいと何気なく蛇に、雨を降らせてくれたら娘を嫁にやると約束します。ところがその夜本当に雨が降り、末娘お夜叉は山上の池で竜神の妃となるのでした・・・。

伝説の池「夜叉ヶ池」は、今も福井県との県境、三周ヶ岳の頂上近くエメラルドグリーンの水面をたたえ静かにたたずんでいます。

◆ふれあいの森

マンサクの黄色、緑の若芽、秋の紅葉、コテージかバンガローに泊まって揖斐の四季を満喫できます。

① 開 6月1日～10月30日

☎ 0585-53-2111 (揖斐川町坂内振興事務所)

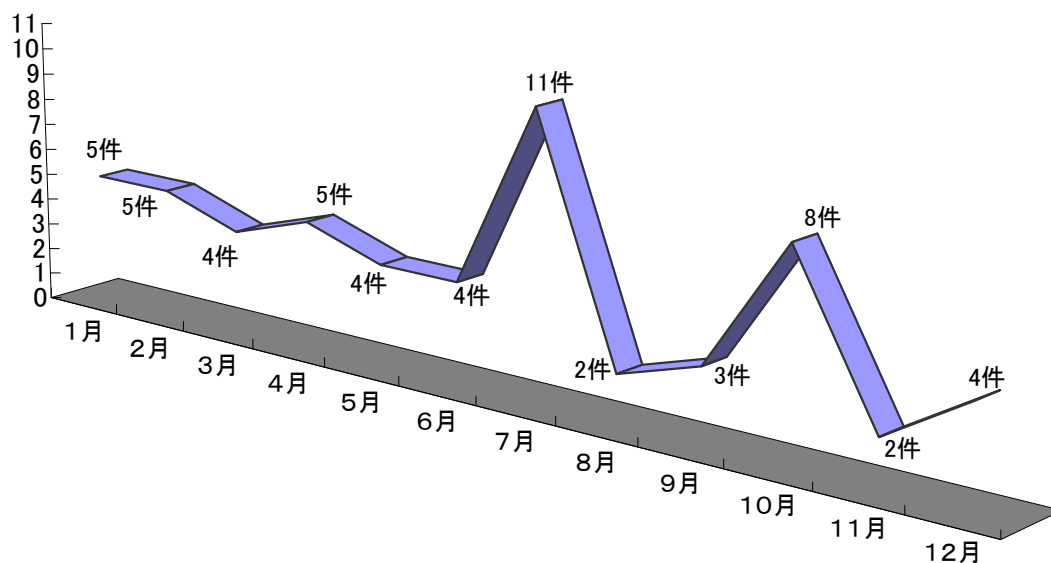


町別救助件数

(平成19年1月1日～12月31日)

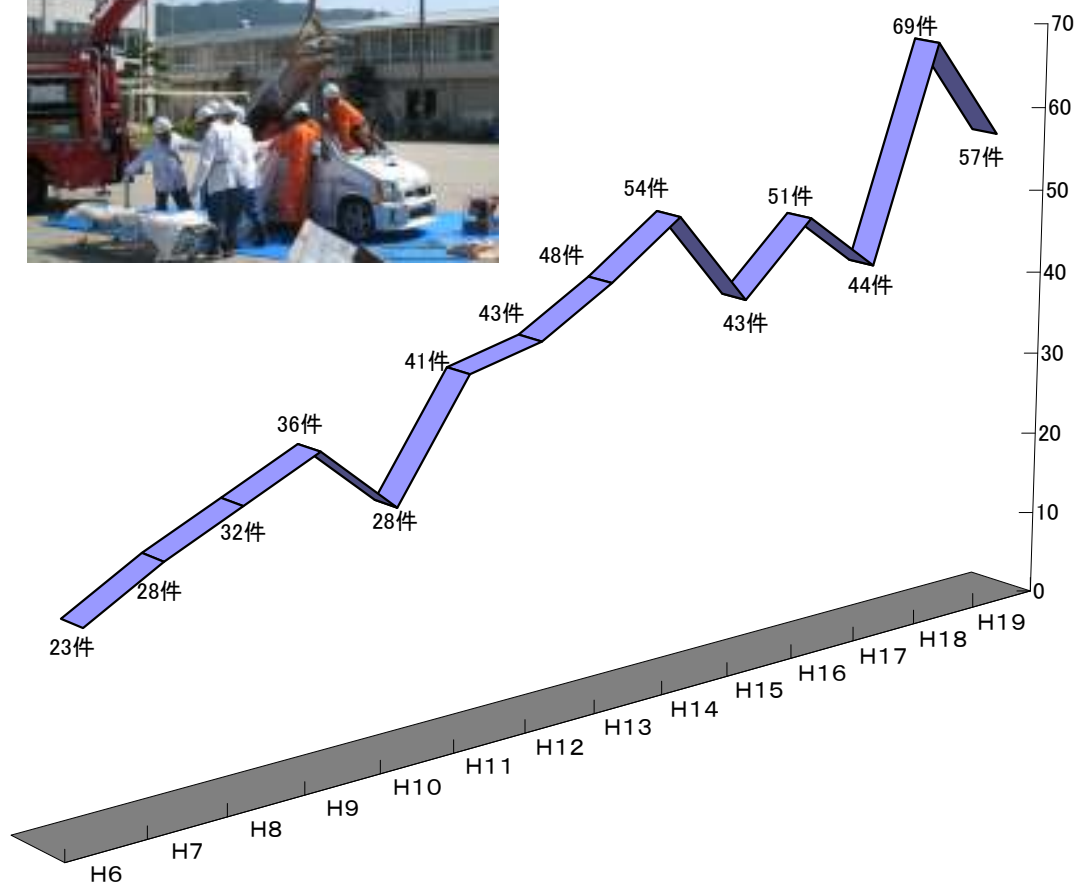
区 分 種 別		平成 十九 年	平成 十八 年	増 減	町 別		
					大 野 町	揖 斐 川	管 外
計	救 助 出 動 件 数	57	69	△ 12	21	32	4
	救 助 活 動 件 数	37	39	△ 2	10	23	4
	救 助 人 員	47	42	5	16	27	4
救 助 活 動 件 数 の 内 訳	火 災	1		1		1	
	交 通 事 故	24	31	△ 7	9	12	3
	水 難 事 故	2	2			2	
	風水害等自然災害						
	機 械 に よ る 事 故	1		1		1	
	建 物 等 に よ る 事 故	1	2	△ 1		1	
	ガス及び酸欠事故						
	破 裂 事 故						
	そ の 他 の 事 故	8	4	4	1	6	1
	計	37	39	△ 2	10	23	4

月別救助件数



救助件数の推移

(平成6年～平成19年)



9. 消 防 団 ・ 防 火 ク ラ ブ 等



管内消防団の消防力

消防団名	条例定員	実員	消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ付積載車	小型動力ポンプ
揖斐川町消防団	708人	663人	19台	34台	34台
大野町消防団	155人	154人	7台	1台	1台
合 計	863人	817人	26台	35台	35台



幼 年 消 防 ク ラ ブ の 状 況

町村別	名 称	クラブ結成年月日	クラブ員数	指導者数
揖斐川町	揖斐幼稚園幼年消防クラブ	S56.10.15	278人	14人
	いび幼児園幼年消防クラブ	S56.10.15	90人	7人
	きよみず幼児園幼年消防クラブ	S56.10.15	53人	4人
	おじま幼児園幼年消防クラブ	S56.10.15	8人	5人
	やまと幼児園幼年消防クラブ	S56.10.15	62人	4人
	きたがた幼児園幼年消防クラブ	S56.10.15	50人	4人
	谷汲保育園幼年消防クラブ	S56.10.15	53人	5人
	長瀬保育園幼年消防クラブ	S56.10.15	29人	5人
	かすが保育園幼年消防クラブ	S56.10.25	34人	4人
	久瀬保育園幼年消防クラブ	S56.10.25	18人	4人
	藤橋保育園幼年消防クラブ	S56.10.25	8人	3人
	坂内保育園幼年消防クラブ	S56.10.15	7人	2人
大野町	豊木保育園幼年消防クラブ	S56.10.15	223人	29人
	大野保育園幼年消防クラブ	S56.10.15	85人	12人
	鶯保育園幼年消防クラブ	S56.10.15	65人	12人
	大野北保育園幼年消防クラブ	S56.10.15	72人	8人
	大野南保育園幼年消防クラブ	S56.10.15	88人	9人
	大野東保育園幼年消防クラブ	S56.10.15	118人	17人
	大野西保育園幼年消防クラブ	S56.10.15	81人	9人
合 計	20 ク ラ ブ		1422人	157人

少 年 消 防 ク ラ ブ の 状 況

町村別	名 称	クラブ結成年月日	クラブ員数	指導者数
揖斐川町	揖斐小学校小少年消防クラブ	H 4 . 4 . 24	100人	1人
	清水小学校少年消防クラブ	S 57 . 8 . 2	39人	1人
	大和小学校少年消防クラブ	H 4 . 4 . 24	56人	1人
	北方小学校少年消防クラブ	H 4 . 4 . 24	39人	1人
	小島小学校少年消防クラブ	H 2 . 11 . 5	81人	1人
	揖斐川中学校少年消防クラブ	H 4 . 4 . 24	369人	1人
	北和中学校少年消防クラブ	H 4 . 4 . 24	151人	1人
	谷汲小学校少年消防クラブ	S 58 . 8 . 25	70人	1人
	谷汲中学校少年消防クラブ	S 4 . 7 . 20	107人	1人
	春日小学校少年消防クラブ	S 61 . 4 . 1	19人	1人
	春日中学校少年消防クラブ	H 4 . 7 . 20	29人	1人
	久瀬小学校少年防火クラブ	H 3 . 4 . 1	22人	1人
	久瀬中学校少年防火クラブ	H 4 . 7 . 20	31人	1人
	坂内小学校少年消防クラブ	S 25 . 11 . 1	6人	1人
	坂内中学校少年消防クラブ	S 25 . 11 . 2	12人	1人
小計	15 ク ラ ブ		1131人	15人
大野町	大野西小少年消防クラブ	S 53 . 4 . 1	58人	1人
	大野中小学校少年消防クラブ	S 60 . 2 . 18	55人	1人
	大野小学校少年消防クラブ	H 4 . 7 . 13	188人	1人
	大野北小学校少年消防クラブ	H 4 . 7 . 13	104人	1人
	大野東小学校少年消防クラブ	H 4 . 7 . 13	102人	1人
	大野南小学校少年消防クラブ	H 4 . 7 . 13	76人	1人
	大野中学校少年消防クラブ	H 4 . 7 . 13	649人	1人
	揖東中学校少年消防クラブ	H 4 . 7 . 13	191人	1人
小計	8 ク ラ ブ		1423人	8人
合 計	23 ク ラ ブ		2554人	23人

婦 人 消 防 隊 ・ 防 火 ク ラ ブ の 状 況

町 村 別	名 称	クラブ結成年月日	クラブ員数
揖 斐 川 町	揖 斐 川 町 女 性 防 火 ク ラ ブ	S 4 3 . 1 . 8	510人
大 野 町	大 野 町 女 性 防 火 ク ラ ブ	S 5 3 . 1 2 . 3	253人
合 計	2 ク ラ ブ		763人